Niigata 2025

history,nature and environment,industory,
transportation and international exchange,data,
disaster and disaster prevention,budget,
prefectural mechanism and work

新潟県のすがた

新潟県

新潟県の四季

四季ごとの表情がはっきりしている新潟は
季節のおいしいものや、海や山といった
自然にあふれ、楽しみ方も多彩です！

春　新潟の春は花がいっぱい！

長い冬から目覚めるように、様々な花が咲き誇る新潟の春。
チューリップの他にも、花の名所がいっぱいです。

水芭蕉
（五泉市）

桜
（上越市）

トビシマカンゾウ
（佐渡市）

夏　なが～い海岸線を持つ新潟！

東西に長く、日本海に面した新潟県。海岸線の長さは
635kmあり、個性豊かな海水浴場が県内各地にあります。

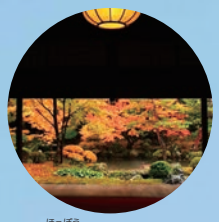
谷浜海水浴場
（上越市）

尖閣湾
（佐渡市）

越後出雲崎天領の里
（出雲崎町）

秋　自然豊かな新潟で秋を満喫！

豊かな彩りを見せる、新潟の秋。壮大な山々、
長い歴史を持つ史跡や寺社仏閣など、紅葉の名所もたくさんです。


北方文化博物館
（新潟市）

弥彦公園
（弥彦村）

不動滝
（妙高市）

冬　50を超えるバラエティあふれるスキー場

新潟にスキーが伝わって100余年。今では気軽に行ける
スキー場がたくさんあり、どこにしようか悩みます。

金谷山スキー場
（上越市）

松之山温泉スキー場
（十日町市）

妙高杉ノ原スキー場
（妙高市）

CONTENTS

[特集] 佐渡島の金山 …… 04
新潟県の歴史 …… 06
新潟県の自然と環境 …… 12
新潟県の産業 …… 14
新潟県あれこれ全国ベスト3 …… 20
交通と国際交流 …… 22
データで見る新潟県 …… 24
災害と防災 …… 26
新潟県の予算 …… 28
県のしくみと仕事 …… 30

「新潟県のすがた」を
最後まで読んで

**クイズに
答えよう!**

Q1
新潟県が
全国で
1番のものは
何でしょう？

とっぴー

Q2
あなたが住んでいる
市町村には、
どれくらいの人が
住んでいる
でしょう?

きっぴー

新潟県宣伝課長「トッキッキ」
トッキッキ（男の子の「とっぴー」と女の子の「きっぴー」）は 2009 年に開催された「トキめき新潟国体」と「トキめき新潟大会」のマスコットキャラクターとして大活躍しました。現在、「新潟県宣伝課長」として新潟県の PR に活躍しています。

この「新潟県のすがた 2025」は、ふるさと新潟県を知ってもらうために、県内の中学生向けに作成しています。

※（　）内は平成12年（2000年）時の市町村名

市町村の面積と人口

市町村	面積(㎢)	人口(人)	市町村	面積(㎢)	人口(人)	市町村	面積(㎢)	人口(人)
新潟市	725.99	764,117	燕市	※ 110.94	74,273	聖籠町	37.57	13,987
長岡市	※ 891.05	254,996	糸魚川市	※ 746.24	37,178	弥彦村	25.17	7,285
三条市	431.97	89,619	妙高市	445.63	28,422	田上町	31.71	10,386
柏崎市	442.02	75,574	五泉市	※ 351.91	44,099	阿賀町	952.89	8,535
新発田市	533.11	90,058	上越市	973.89	178,682	出雲崎町	44.41	3,706
小千谷市	155.19	31,912	阿賀野市	※ 192.74	38,347	湯沢町	※ 357.29	8,134
加茂市	133.72	23,160	佐渡市	855.68	46,199	津南町	170.21	8,143
十日町市	※ 590.39	45,541	魚沼市	946.76	31,654	刈羽村	26.27	4,148
見附市	77.91	37,240	南魚沼市	584.55	51,774	関川村	※ 299.61	4,457
村上市	※ 1,174.17	52,273	胎内市	264,89	26,666	粟島浦村	9.78	316

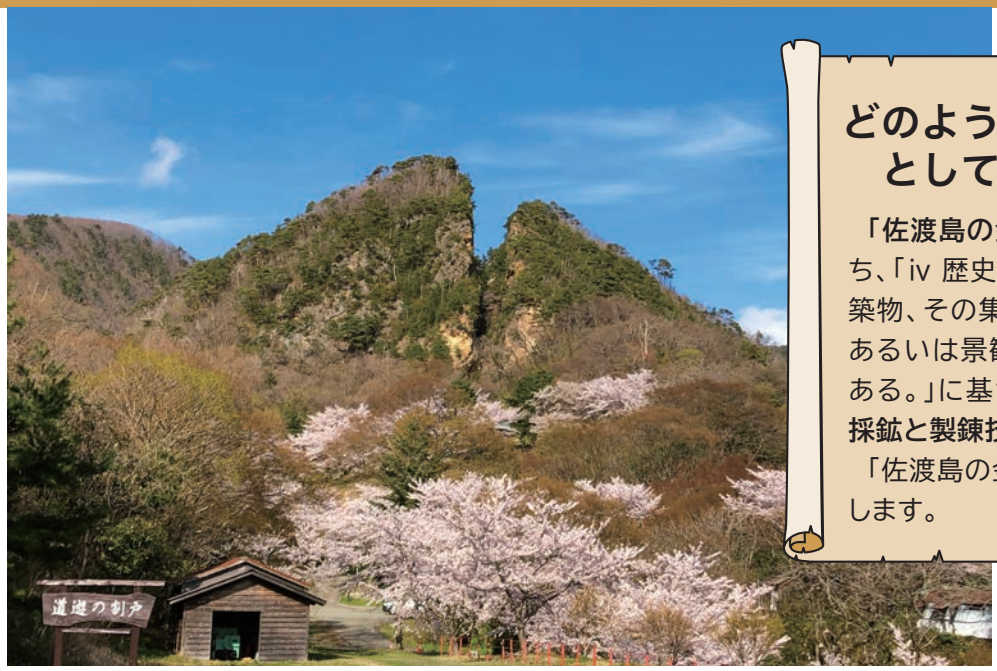
新潟県全体（20市6町4村）	全体面積(㎢)	全体人口(人)
	12,583.67	2,090,881

●※印の数値は、境界の一部未定のため、参考値を示した。

面積（令和6年10月1日現在）　人口（令和7年2月1日現在県推計人口）

～ 令和6年7月27日　世界遺産（文化遺産）に登録 ～

佐渡島（さど）の金山　Sado Island Gold Mines



どのような価値が世界遺産として認められたの？

「佐渡島の金山」は10の評価基準のうち、「iv 歴史上の重要な段階を物語る建築物、その集合体、化学技術の集合体、あるいは景観を代表する顕著な見本である。」に基づき、**高度な手工業による採鉱と製錬技術**が評価されました。

「佐渡島の金山」は、**「文化遺産」**に該当します。

世界遺産としての価値

「佐渡島の金山」は、16世紀末から19世紀半ば世界の他の地域において採鉱などの機械化が進んだ時代に、高度な手工業による採鉱と製錬技術を250年以上にわたり継続した、アジアにおける他に類を見ない貴重な文化遺産です。江戸時代（17～19世紀半ば）に徳川幕府は手工業を効率化するための管理体制と労働体制を構築し、17世紀には世界有数の金鉱山として高品質の金を大量に生産しました。これらは鉱山地域・集落地域の遺跡によって証明されます。

採掘跡に囲まれた集落（西三川砂金山）

良好に残る採掘技術の痕跡（相川鶴子金銀山）

徳川幕府の財政を支えた佐渡の金

～空前の発展を遂げた鉱山町～

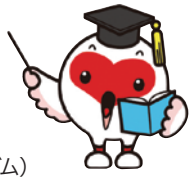
佐渡で産出された金を用いて小判の製造が行われました。これは国内の鉱山では唯一のことです。小判は江戸へと運ばれ、徳川幕府の財政を支え続けました。

徳川幕府は「佐渡島の金山」を重視し、金生産を効率的かつ長期にわたって継続させるため、資金の投資と労働環境の整備を行いました。

とりわけ鉱山経営の中心地となった相川の町は元々小さな漁村でしたが、金の発見とともに計画的な地割や街路を持つ大規模な町が整備されました。そして、金生産に必要な労働者や人材が全国各地から集まったことで、人口最大5万人ともいわれる当時の国内有数の都市へと発展を遂げました。

オランダに運ばれた「佐渡小判」
オランダ王国貨幣コレクション（アムステルダム）

佐渡で作られた小判は江戸に運ばれ、主に幕府の財政資金として用いられました。17世紀、オランダ東インド会社を通じて大量の小判が持ち出され、一部は遠く欧州まで運ばれたものもあります。



2つのエリアの金生産技術

金鉱石

砂金

相川鶴子金銀山

相川鶴子金銀山では硬い金鉱石に含まれる「目に見えない金」を得るため、様々な技術と生産の仕組みが発展しました。

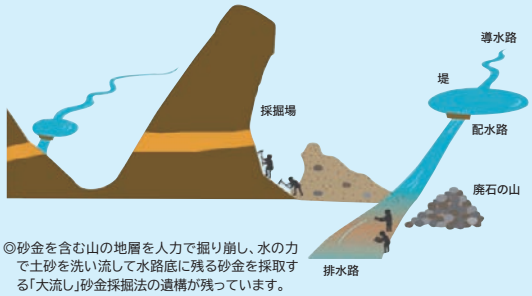
西三川砂金山

佐渡で最古とされる砂金山です。「目に見える金」である砂金を効率的に得る「大流し」という独特な採掘方法が行われました。

1 鉱床の特性に適合して深化した伝統的手工業による鉱山技術

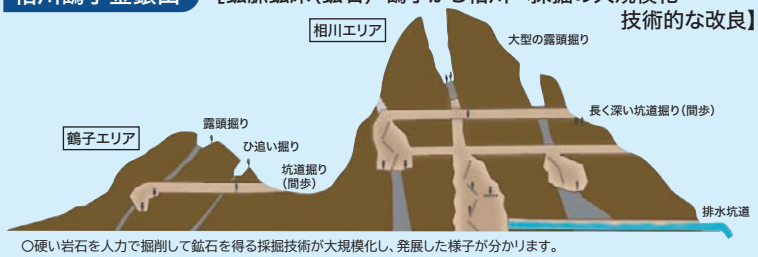
2 つのエリアの鉱山の特徴に合った技術が導入され発展しました。

西三川砂金山 ［堆積砂金鉱床：「大流し」砂金採掘法］



◎砂金を含む山の地層を人力で掘り崩し、水の力で土砂を洗い流して水路底に残る砂金を採取する「大流し」砂金採掘法の遺構が残っています。

相川鶴子金銀山 ［鉱脈鉱床（鉱石）：鶴子から相川へ採掘の大規模化・技術的な改良］



○硬い岩石を人力で掘削して鉱石を得る採掘技術が大規模化し、発展した様子が分かります。
露頭掘り：地表面に露出した鉱脈を採掘する方法
ひ追い掘り：地中に延びる幅の狭い鉱脈を追いかけて採掘する方法
坑道掘り：水平方向に坑道を掘り、多数の並行鉱脈を同時に採掘する方法

2 高品位の金生産を可能とした一連の生産工程

分業体制を整え、各工程に従事する労働者の専門性と技術精度の向上を図っていました。

［図出典］西三川砂金山：「西三川砂金山稼方図」（新潟県立歴史博物館）
相川鶴子金銀山：「佐渡の国金掘ノ巻」（相川郷土博物館）

西三川砂金山

採掘

鉱床を掘り崩し"大流し"を行う

選鉱

水路底の砂金を比重選鉱で採取する

西三川の砂金は相川の奉行所へ運ばれる

相川鶴子金銀山

採掘

鉱石を掘り出す

選鉱

鉱石を破砕・粉砕し、金銀分を選別

製錬

鉛を加えて金銀分を抽出する（灰吹法）

精錬

塩を加えて焼き、金の純度を上げる（焼金法）

小判製造

切り分けた金を叩いて成形し、小判に

これら「佐渡島の金山」の一連の「金生産技術」が世界遺産登録のための評価基準に相当すると評価されました。

「もっと詳しく知りたい！佐渡島の金山世界遺産ガイドブック」一部抜粋

世界遺産とは

地球の生成と人類の歴史によって生み出され、過去から現在へと引き継がれてきたかけがえのない宝物です。
現在を生きる世界中の人びとが過去から引継ぎ、未来へと伝えていかなければならない人類共通の遺産です。
世界遺産は、1972年の第17回UNESCO総会で採択された世界遺産条約の中で定義されています。
（公益社団法人日本ユネスコ協会連盟ホームページより）

○世界遺産の種類
「文化遺産」：顕著な普遍的価値※を有する記念物、建造物群、遺跡、文化的景観など
「自然遺産」：顕著な普遍的価値を有する地形や地質、生態系、絶滅のおそれのある動植物の生息・育成地など
「複合遺産」：文化遺産と自然遺産の両方の価値を兼ね備えているもの

○ 登録基準
「顕著な普遍的価値」を有するとみなされた資産です。１０の評価基準のうち１つ以上を満たし、完全性及び真正性の条件についても満たしている必要があります。
また、確実に保護を担保する適切な保護管理体制がなければいけません。

○ 日本の世界遺産
26件の資産（文化遺産21件、自然遺産５件）が世界遺産一覧表に記載されています。（2024.7現在）

※「顕著な普遍的価値」とは、国家間の境界を超越し、人類全体にとって現代及び将来世代に共通した重要性をもつような、傑出した文化的な意義及び自然的な価値を意味します。そのような遺産を恒久的に保護することは国際社会全体にとって最高水準の重要性を有します。

新潟県の歴史

原始

新潟県を南北に流れる信濃川上流の河岸段丘や五十嵐川流域などには、すでに約3万5千年前から人々が暮らしていました。

縄文時代には、平野や海岸まで生活の場を広げ、竪穴住居で暮らすようになりました。人々は、狩猟をしたり、サケやマスなどの魚を捕ったりするなどして生活していました。また、ドングリやトチの実、山菜なども食べていたようです。

弥生時代には、新しく農耕技術が伝わり、県内各地の平野で米作りが始まりました。稲作には、種まきから収穫まで大勢の力を必要としたため、人々はより大きな集団を作って生活するようになりました。そして古墳時代になると、有力者を埋葬する古墳が造られるようになりました。

■竪穴住居が復元された笹山遺跡（十日町市）（写真提供：十日町市博物館）

古代

大和王権の勢力が北上し、7世紀半ばに、渟足柵（現在の新潟市のあたり）や磐舟柵（現在の村上市のあたり）が作られ、7世紀後半には阿賀野川以北までその影響が及びました。そして8世紀初めには、今の新潟県にあたる越後国と佐渡国が成立しました。新しい律令体制のもとで、8世紀半ばには、越後国や佐渡国にも国分寺が建立され、荘園の開発が積極的に進められました。また、都へ貢納物（税）を運ぶための道や港が整えられ、越後国には国の港として蒲原津（新潟市）が作られました。

■五智国分寺の三重の塔（上越市）

約1200年前に平和と繁栄を祈願して、国ごとに国分寺が建立された。現在の五智国分寺は上杉謙信によって約450年前に再建されたもので、8世紀半ばに建立された越後国分寺の所在地がどこであったのかは不明である。県指定有形文化財。

旧石器
約3万5千年前
石を割った道具で、えものなどを捕えている人々がいる。

縄文
約1万5千年前
土器が煮炊きの道具として使われるようになる。

弥生
約5千年前
信濃川中流域で火焔型土器が使われる。

1世紀頃
稲作が始められ、平地に定住するようになる。

古墳
4世紀 後半
全長53メートルの菖蒲塚古墳がつくられる。

7世紀 半ば
渟足柵と磐舟柵をつくり、北の守りを固める。

飛鳥
7世紀 後半
越の国が、越前・越中・越後に分けられる。

奈良
8世紀 半ば
奈良の東大寺の私有地である荘園がいくつかつくられる。

平安
1181年
越後守の城長茂が源義仲と戦い、敗れる。

鎌倉
1207年
親鸞が越後に流される。

1271年
日蓮が佐渡島に流される。

中世

文治元年(1185年)、源頼朝は国ごとに守護をおき、荘園には地頭をおいて年貢のとりたてなどにあたらせました。越後国には、地頭として関東の有力な武士たちが送り込まれてきました。

14世紀半ばから後半にかけての南北朝の動乱後は、守護である上杉氏の統治が始まりました。

しかし、戦国時代(応仁元年(1467年)の応仁の乱以後、約1世紀の間)になると、守護代の長尾氏が越後国での支配力を強め、16世紀半ばに春日山城(上越市)を拠点とする長尾景虎(後の上杉謙信)が越後国を統一しました。

上杉謙信は、戦いだけでなく人々の暮らしを守ることにも力を入れました。生活が苦しい人々の税を軽くし、麻織物の保護などに力を入れました。

謙信の死後、上杉景勝が跡を継ぎましたが、豊臣秀吉によって会津(福島県)に国替になりました。上杉景勝の側近の直江兼続は、豊臣秀吉に一目を置かれるとともに、徳川家康とも対立した智将です。関ヶ原の戦いののち、上杉家は減封され米沢(山形県)に国替となりましたが、兼続は、米沢で堤防の整備や産業の振興など殖産興業にも優れた才を発揮しました。

■越後国奥山荘与荒川保堺相論和与絵図(県立歴史博物館所蔵)

鎌倉時代の末期、奥山荘(胎内市)と荒川保(村上市)の間の境界線を定めるときに作成された絵図。真ん中に朱線が引いてあり、その両端には鎌倉幕府の執権(北条貞時)・連署(大仏宣時)の花押がある。

近世

江戸時代、越後国は主として高田藩、長岡藩、新発田藩、村上藩などが分割して治め、佐渡国は幕府が直接治めていました。

佐渡国の佐渡金銀山は、江戸時代初期に最盛期を迎え、幕府の重要な財源となりました。

江戸時代は、米づくりが産業の中心であり、各藩の財政は年貢でまかなわれていたため、新田開発が活発に行われた結果、越後国の石高は、45万石(1598年)から115万石(1868年)へと約2.5倍に増えました。また、江戸時代中期、北前船により、輸送が盛んになると、内陸部から米をはじめとする産物が集められた新潟港や直江津港は、ますます栄えていきました。

この他にも、村上の鮭漁や、小千谷や塩沢、十日町を中心とした織物産業など、各地で産業の振興が図られました。

■北前船
(写真提供：佐渡国小木民俗博物館)

江戸時代中期から明治時代中期にかけて、大坂方面と蝦夷地(北海道)を結ぶ日本海海運で活躍した商船のこと。新潟県では小木(佐渡市)や新潟、直江津、出雲崎などに寄港した。
(写真は復元した北前船)

鎌倉

1333年
新田義貞が越後守になる。

室町

1434年
将軍と対立した世阿弥が佐渡島に流される。

1561年
川中島の合戦のなかで、最も激しい戦いが行われる。

安土桃山

江戸

1610年
松平忠輝が越後に入り、後に高田城を築く。

17世紀 前半
佐渡島の金銀山の最盛期といわれ、江戸幕府の財政を支える。

1637年
高田藩が大潟用水の工事をはじめ、新田開発に乗り出す。

1665年
高田を中心に大きな地震が発生する。

1758年
良寛が生まれる。

18世紀 後半
村上藩がサケの天然ふ化の研究を始める。

1837年
鈴木牧之が雪国の暮らしぶりを「北越雪譜」にまとめる。

近代

明治元年(1868年)4月、政府は、新潟・佐渡に本県初の政府直轄地方行政機関である裁判所を置きました(後に越後府・佐渡県となります)。しかし、この時期は戊辰戦争の最中で、実質的な施策は行われませんでした。さらに政府は、地方を府・藩・県の三つに区分し、府県に知事を置き、藩はそのまま残すという「府藩県三治」の方針をうち出し、越後11藩、越後府、柏崎県、佐渡県が置かれることになりました。

明治4年(1871年)7月の廃藩置県によって、越後、佐渡は13県となりましたが、さらに同年11月に府県の大整理が行われ、新潟、柏崎、相川の3県に統合されました。これらの各県では、「県治条例」によって県官制を整備し、明治政府の指揮のもと大小区制をしき、戸籍の作成、学制の施行、徴兵令の実施、地租改正など多くの大事業を次々と実施していきました。

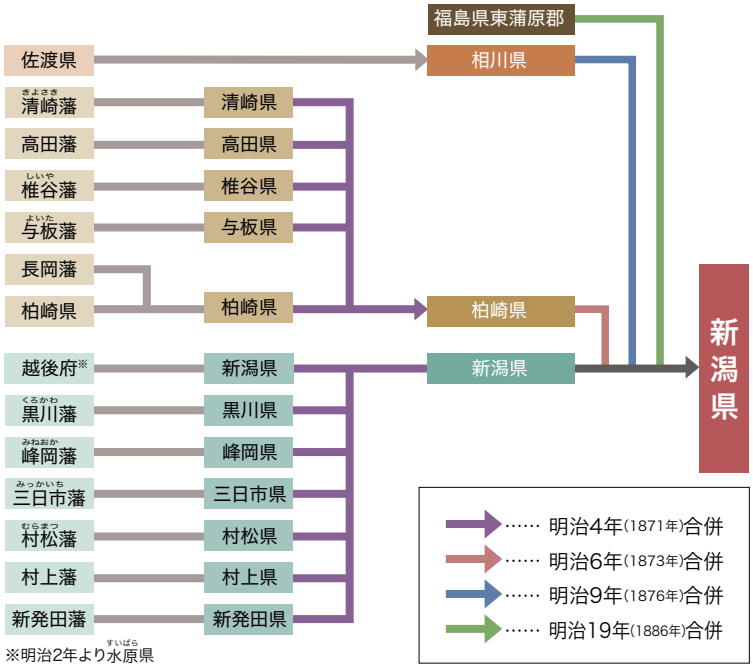
明治6年(1873年)6月に柏崎県が新潟県に合併され、また明治9年(1876年)4月には相川県が新潟県に合併され、さらに明治19年(1886年)5月に東蒲原郡が福島県から新潟県に編入されて現在の新潟県の姿となりました。

■県政記念館

明治16年(1883年)に建設され、昭和7年(1932年)まで新潟県議会議事堂として使用された。現在は県政記念館として一般公開されている。明治期の府県制度の中で建てられた、現存する唯一の県会議事堂として、国の重要文化財に指定されている。

※耐震改修工事中

新潟県の成立 ―藩・県の変遷―



※明治2年より水原県

■新潟港の開港「新潟湊之真景」(新潟県立図書館所蔵)

日米修好通商条約(安政5年(1858年)締結)により、日本は五港(新潟、函館、神奈川、兵庫、長崎)を開港することとした。

明治

1868年
北越戊辰戦争が起こる。

1886年
直江津と関山の間に、新潟県で初めての鉄道が敷かれる。

1911年
レルヒ少佐によって、日本に初めてスキーが伝えられる。

大正

1922年
大河津分水路が完成し、川の洪水を防ぐ。

昭和

1931年
上越線の清水トンネルが開通し、関東との行き来が便利になる。

1945年
8月、長岡市が大空襲にあい、1400人以上の死者が出る。

1963年
チューリップが「県の花」として制定される。

1964年
新潟地震により、新潟市を中心に大きな被害を受ける。

1965年
朱鷺が「県の鳥」に指定される。

1966年
雪椿が「県の木」に制定される。

1969年
新潟東港が開港し、ここを中心に次第に工業地域が発展する。

現代

第二次世界大戦後、農地改革で新しく農地を得た人々が米づくりに取り組むとともに、県内各地では農地の改良も進みました。品種改良により「コシヒカリ」が開発・栽培されるようになると、新潟県は日本一の米どころと言われるようになっていきました。

県内で天然ガスが発見されると、工業も発展を遂げました。採掘に必要な機械をつくる機械工業、天然ガスで化学繊維や合成繊維をつくる化学工業などが発達しました。

新潟と関東・北陸の各地を結ぶ2つの新幹線や、関東・東北・北陸の各地を結ぶ5つの高速道路、新潟空港の整備などにより、様々な地域との交流が盛んになっています。

平成16年(2004年)に発生した7.13新潟豪雨災害や中越大震災では、中越地方を中心に大きな被害が発生しました。

平成19年(2007年)4月1日、新潟市が政令指定都市に移行。また、同年7月16日には中越沖地震が発生し、柏崎地域を中心に大きな被害を受けましたが、先の災害とともに県民が力を合わせて、復興の取組を進めてきました。

平成20年(2008年)9月25日には「県の鳥」トキの試験放鳥が行われ、27年ぶりにトキが佐渡の大空を舞いました。

平成21年(2009年)には、県内では45年ぶりとなる国体(トキめき新潟国体)と、障害者スポーツ大会(トキめき新潟大会)が開催されました。

平成23年(2011年)には、東北沖を震源とする東日本大震災が発生。その翌日には、長野県北部地震が発生し、十日町市・津南町で震度6弱を記録するなど、県内でも被害が発生しました。

平成27年(2015年)には、北陸新幹線(長野・金沢間)が開業。これと同時に「えちごトキめき鉄道」が開業しました。

平成28年(2016年)には、42年ぶりに野生下生まれ同士のトキから誕生したヒナが巣立ち、トキの野生復帰が順調に進んでいます。

令和6年(2024年)1月1日に石川県能登地方を震源とする能登半島地震が発生し、県内でも大きな被害が発生しました。また、7月には「佐渡島の金山」が世界文化遺産に登録されました。

■戦前の亀田郷の農作業 (写真提供:亀田郷土地改良区 撮影:本間 喜八 氏)

戦前、亀田郷一帯は「芦沼」「地図にない湖」とも呼ばれるほどの低湿地帯で、腰まで水につかりながら田植えや刈り入れの作業を行っていた。戦後、巨大な排水機場の建設などにより乾田化に成功し、広大で緑豊かな田園地帯が形成された。

■えちごトキめきリゾート雪月花

2015年3月14日、北陸新幹線金沢延伸に伴い、えちごトキめき鉄道が開業しました。翌2016年4月23日には、沿線の観光振興を目的としたリゾート列車「えちごトキめきリゾート雪月花」が運行を開始しました。

昭和

1972年
信濃川下流に関屋分水路が完成し、川の洪水を防ぐ。

1982年
新潟―大宮間で上越新幹線が開通する。

1985年
現在の県庁舎が完成する。

平成

1997年
ほくほく線が開通する。

2001年
県立新潟スタジアム(ビッグスワン)が完成する。

2002年
本県出身の北朝鮮拉致被害者3名が帰国する。

2004年
新潟県中越大震災により、中越地方を中心に大きな被害を受ける。

2007年
新潟県新潟市が政令指定都市に移行。中越沖地震発生。

2008年
トキが試験放鳥される。雪割草が「県の草花」に指定される。

2009年
県立野球場が完成する。トキめき新潟国体、トキめき新潟大会開催。

2011年
東日本大震災、長野県北部地震発生。

2012年
トキが自然界で36年ぶりに誕生。

2015年
北陸新幹線(長野・金沢間)、えちごトキめき鉄道が開業する。

2016年
42年ぶりに野生下生まれ同士のトキから誕生したヒナが巣立つ。

2017年
錦鯉が「県の鑑賞魚」に指定される。

令和

2019年
県立武道館が完成する。

2022年
翡翠が「県の石」に指定される。

2024年
能登半島地震発生。
「佐渡島の金山」が世界遺産(文化遺産)に登録される。
新潟拠点の地域航空会社トキエアが就航する。

郷土豆知識 1

1 偉人

新潟県には、近代日本の基礎を築き、また、日本史を彩った偉人が大勢います。私たちのふるさとが生んだ郷土の偉人について、詳しく調べてみませんか？（出生順）

県立歴史博物館所蔵

01 上杉 謙信 うえすぎ けんしん
（1530-1578）

群雄割拠の状態であった戦国時代、現在の上越市にある春日山城を拠点に越後国を統一した戦国大名。虎千代、景虎、政虎、輝虎と改名し、41歳で謙信と号した。武田信玄と戦った川中島の戦いや、敵の弱点につけ込まず、逆にその苦境から助けるという意味の「敵に塩を送る」という言葉でも有名。

02 青砥 武平治 あおと ぶへいじ
（1713-1788）

村上藩の武士で、世界で初めて鮭の回帰性に注目し「種川の制」を考案した。これは鮭が安心して産卵できるよう、三面川の本流をバイパスする河川を作り、ふ化を助けようとするもので、以降、村上の鮭漁はさらに盛んになった。また、この技術は出羽・庄内藩の河川や蝦夷地の石狩川にも導入された。

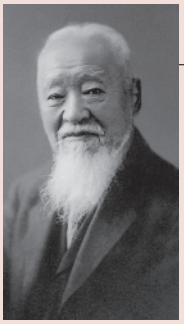
03 良寛 りょうかん
（1758-1831）

1758年に出雲崎の名主・橘屋の長男として生まれたが、家を継がず18歳で出家。諸国を巡り、故郷に戻ってからも寺泊、分水、和島など県内各地を転々とし、托鉢修行の生活を続けた。歌人・書家としても有名なほか、その優しい人柄を表す逸話も多く、当時から現在にいたるまで、多くの人々に愛され続けている。

郵政博物館提供

04 前島 密 まえじま ひそか
（1835-1919）

1835年に上越市で生まれ、明治の初めに郵便制度を築き上げた「日本近代郵便制度の父」。1円切手の肖像でも知られている。「郵便」「切手」という名称も定めた。江戸遷都、国字の改良、海運、新聞、電信・電話、鉄道、教育、保険など、その功績は多岐にわたる。



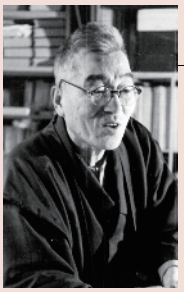
05 益田 孝 ますだ たかし
（1848-1938）

1848年に佐渡奉行所の役人の長男として生まれ、15歳で渡欧した後、輸出業や大蔵省の役人を経て28歳で三井物産を興した。民間に払い下げられた三池炭鉱（福岡県）を落札するなど、明治から昭和にかけての三井財閥の形成、そして日本資本主義成立期の中心人物として活躍した。

長岡市立中央図書館提供

06 杉本 鉞子 すぎもと えつこ
（1873-1950）

幕末の長岡藩家老の娘。結婚を機に、渡米し、2人の娘をもうけるが、夫が急死。文筆で家族を養おうと雑誌「アジア」に英文で寄稿した半自伝的小説『武士の娘』が、国際的なベストセラーに。コロンビア大学で教鞭をとるなど、女性による国際交流の先駆けとなった。



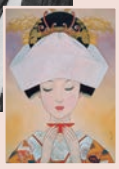
新潟市會津八一記念館提供

07 會津 八一 あいづ やいち
（1881-1956）

1881年、新潟市生まれ。中学時代から俳句・和歌に親しむ。27歳の時に訪れた古都奈良の風光や仏教美術に魅了され、作歌を本格化。万葉調の独自の歌風を樹立し、世の評価を得た。また、東洋美術史学者として「実物」を重んじる研究態度を貫いた。晩年は故郷で過ごし、独特の書でも有名。

08 諸橋 轍次 もろはし てつじ
（1883-1982）

三条市に生まれ、幼い頃から漢学に親しみ、大正8年には文部省から当時としては珍しい中国留学を命じられた。また、30年以上の歳月をかけて世界最大の漢和辞典「大漢和辞典」を編さんしたほか、皇族の御誕生の際には御名号・御称号を勘申するなど、漢学界の大家として名を馳せた。昭和40年、文化勲章受章。



蕗谷虹児記念館提供

09 蕗谷 虹児 ふきや こうじ
（1898-1979）

1898年に新発田市で生まれ、大正から昭和にかけて活躍した挿絵画家・詩人。若くして詩画集9冊を出版する。童謡『花嫁人形』は25歳の詩。パリでは春・秋のサロンに連続入選をはたし、帰国後はモダンな画風で一世を風靡した。ふるさと切手の名品『花嫁』の原画は69歳の個展出品作。

その他の新潟県の偉人はにいがた文化の記憶館ホームページでご覧ください
http://nmmc.jp/

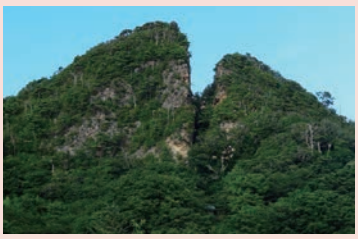
郷土豆知識 2

2 史跡・文化遺産

十日町市
博物館所蔵

火焔型土器

縄文時代中期を代表する土器のひとつで、津南町から長岡市にかけての信濃川上・中流域を中心に県内各地で発見されています。その姿が燃えさかる炎に似ていたことから「火焔型土器」と命名されました。笹山遺跡（十日町市）で発見された火焔型土器を含む57点の出土品は、新潟県唯一の国宝に指定されています。



道遊の割戸

世界遺産「佐渡島の金山」

16世紀末から19世紀半ば、世界の他の地域において採鉱などの機械化が進んだ時代に、高度な手工業による採鉱と製錬技術を250年以上にわたり継続した、アジアにおける他に類を見ない貴重な文化遺産として、令和6（2024）年7月に世界遺産に登録されました。

越後文書宝翰集

全705通、44巻の中世古文書群で、国指定重要文化財です。鎌倉時代以来越後に拠点をもった武士の家や寺院に伝わった古文書を集めて一群としたもので、新潟県域を中心とした鎌倉時代以来の争いや、武士による地域支配のあり方など、多くのことを知ることができます。

県立歴史博物館所蔵

萬代橋

初代の橋は明治19年に竣工し、現在のものより2.5倍以上長い木造橋でした。現在の橋は昭和4年に架けられた3代目で、昭和39年に発生した新潟地震にも耐えた強固な名橋としても知られています。平成16年に国道の橋としては全国2例目の国指定重要文化財に指定されました。

3 郷土料理

変化に富んだ広大な県土と、四季折々に移り変わる自然に恵まれた新潟県には、地域ごとに特徴的な食文化があります。皆さんの住む地域には、どのような郷土料理があるでしょうか。

笹ずし
（上越地方など）

祭りや誕生祝いなど、来客時の定番メニュー

いごねり

佐渡ではロール状にして切るのが特徴の海藻料理

かきあえなます
（下越地方など）

菊を食べる食文化を持つ新潟県ならではの郷土料理

煮菜（中越地方など）

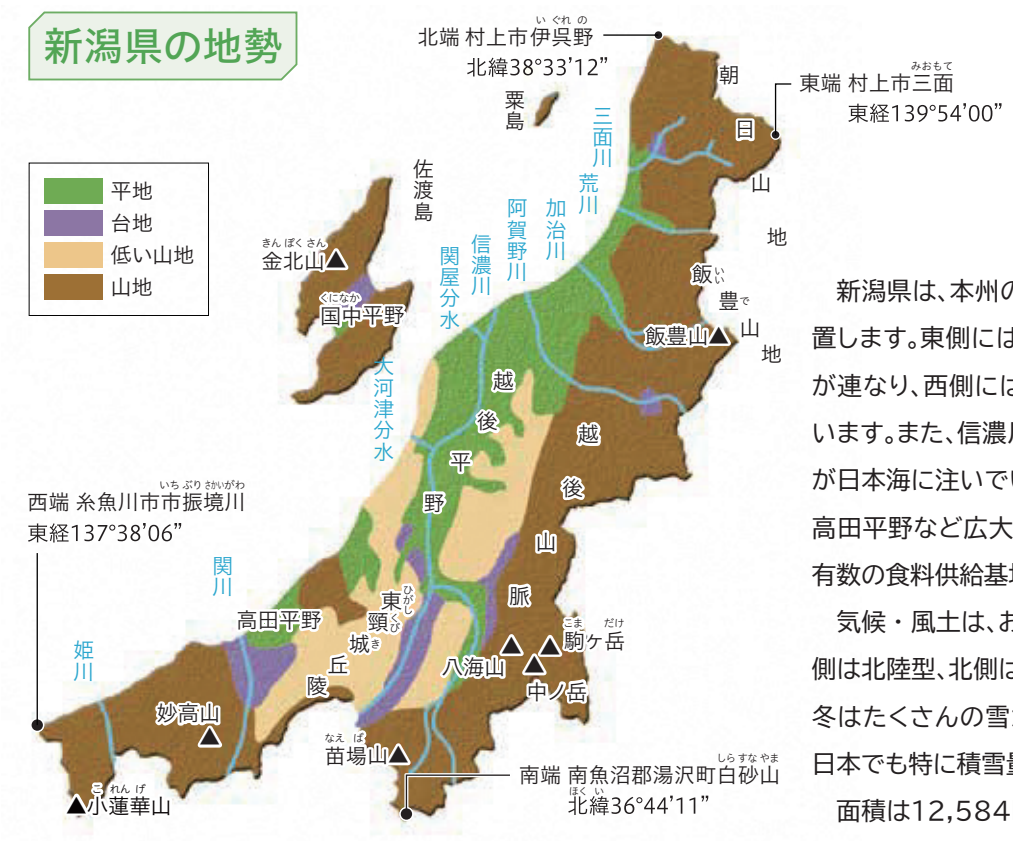
青菜の少ない時期に保存食を利用して作る伝統食
新潟県では「にな」や「にいな」と呼ばれます

開港舎「にいがたのおかず」より

新潟の地域文化を紡ぎ繋げる
新潟文化物語
https://n-story.jp/

新潟県の自然と環境

新潟県の地勢



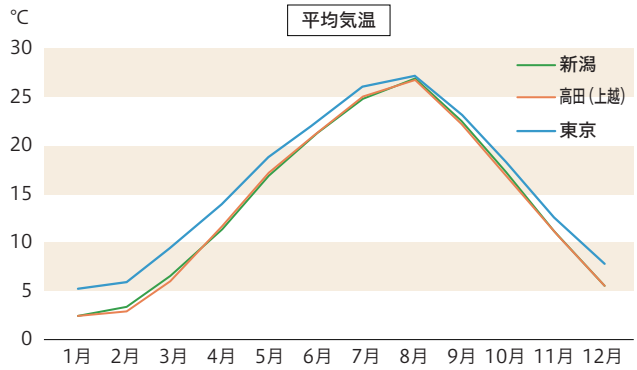
新潟県は、本州の日本海沿岸のほぼ中央部に位置します。東側には朝日山地、飯豊山地、越後山脈が連なり、西側には妙高山などの山々がそびえています。また、信濃川や阿賀野川など数多くの河川が日本海に注いでいます。川の下流には越後平野、高田平野など広大で肥沃な平坦地が広がり、全国有数の食料供給基地を形成しています。

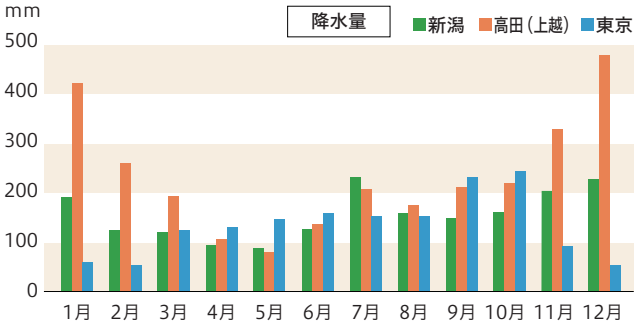
気候・風土は、おおむね阿賀野川を境として、南側は北陸型、北側は東北型に入っています。新潟の冬はたくさんの雪が降り、魚沼地方や上越地方は日本でも特に積雪量の多いところです。

面積は12,584㎢で全国5位、人口は約209万人で全国15位となっています。また本州側の海岸線は330.2kmと非常に長く、変化に富んだ海岸美を形成しているほか、砂丘が発達しているところも多くあります。

新潟市の北西約45kmには佐渡島が、その北東には粟島があります。佐渡島は、周囲280.9km、面積855.68㎢で、北に金北山を主峰とする大佐渡の山地、南は小佐渡の山地が平行して走り、中央部に国中平野が広がっています。

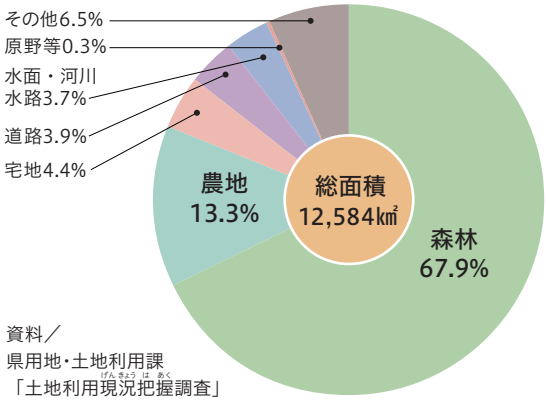
気温と降水量





※平成3年から令和2年までの各月平均値
資料：気象庁「過去の気象データ・ダウンロード」より

土地利用の様子 令和５年



資料／
県用地・土地利用課
「土地利用現況把握調査」

世界的に評価されている新潟県の自然環境

■ラムサール条約登録湿地（佐潟、尾瀬、瓢湖）

毎年多くの白鳥が飛来し、越冬する瓢湖

ラムサール条約とは、水鳥の飛来地や希少な生物のすみかとして重要な湖・沼・湿地を保護するための条約です。

県内では、新潟市の佐潟、魚沼市の尾瀬、阿賀野市の瓢湖の3か所が登録湿地となっており、豊かな自然を守るための取組が行われています。阿賀野市の瓢湖には、毎年、たくさんの白鳥が飛来し、越冬します。

詳しくは阿賀野市のホームページをご覧ください
http://www.city.agano.niigata.jp

■糸魚川ユネスコ世界ジオパーク

糸魚川-静岡構造線が観察できるフォッサマグナパーク（国指定天然記念物）

ジオパークとは、地質をはじめ自然、文化など優れた地域資源を守り、教育や地域振興に活かす取組です。

日本列島を東西に分断するフォッサマグナがあり、日本随一のヒスイ産地として知られる糸魚川市は、平成21年8月に日本初の世界ジオパークに選ばれました。平成27年11月には、世界ジオパークがユネスコの正式なプログラムとなりました。

詳しくは糸魚川ユネスコ世界ジオパークのホームページをご覧ください
https://geo-itoigawa.com/

トキの野生復帰に向けて

平成24年、「県の鳥」トキのヒナが36年ぶりに自然界で誕生し、38年ぶりに無事巣立ちました。そして、平成28年、42年ぶりに野生下生まれ同士から誕生した「純野生」のヒナが巣立ち、野生復帰は順調に進んできています。

トキは、江戸時代まではほぼ全国的に生息していましたが、明治以降急速に減少し、平成15年に日本の野生のトキはとうとう絶滅してしまいました。一方で、佐渡トキ保護センターでは、平成11年に中国から寄贈されたペアによる人工繁殖に成功し、順調に個体数を増やしてきました。

また、平成20年9月からトキを佐渡の自然界に放鳥し、令和6年12月末現在の推定生息数は576羽となっています。

トキの野生復帰は、いったん自然界から姿を消した野生生物を本来の生息地に再び戻すという世界的にもまれな取組です。

県では地域と協力し、今後さらに増えていくことが期待される野生のトキのための餌場整備など、野生トキの定着を目指して取り組んでいます。

写真提供:環境省

詳しくは環境にいがたのホームページをご覧ください
https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kankyo/

新潟水俣病について知って、考えよう

新潟水俣病は、工場排水に含まれるメチル水銀に汚染された阿賀野川の魚を多く食べたことにより起きる中毒性の神経系疾患です。

昭和40年に阿賀野川流域でその発生が確認されました。阿賀野川の環境が汚染され被害者の命や健康が奪われただけでなく、被害者やその家族が、周囲からの心ない中傷や偏見に苦しめられるなど、地域住民の絆にも深刻な影響を及ぼしました。

発生が確認されてから半世紀以上が経ち、阿賀野川の自然が戻った今もなお、被害者の方々の苦しみは続いています。県は、条例を制定し被害者の方々を社会全体で支えるとともに、このような悲惨な公害が二度と繰り返されることなく、誰もが安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目指して取り組んでいます。

新潟水俣病について分かりやすく学べる「県立環境と人間のふれあい館」（新潟市北区）

詳しくは環境と人間のふれあい館のホームページをご覧ください
http://www.fureaikan.net/

新潟県の産業

商工業

新潟県には精密加工や金属プレスなど、ものづくりには欠かせない高度な基盤技術が集積し、オンリーワン技術を持つ企業が多数活躍しています。出荷額では、金属洋食器や石油ストーブ、米菓などが全国１位、ニットをはじめとした繊維産業も全国上位となっています。

1 世界的に注目される新潟の企業

新潟県内には、世界的に注目される技術やトップシェアを誇る、元気なものづくり企業がたくさんあります。

■株式会社 大原鉄工所

「雪上車の国内オンリーワンメーカー」

昭和27年に国内で初めて雪上車の量産化に成功しました。現在は国内唯一の雪上車メーカーとなっており、日本の南極観測隊でも使われています。

■株式会社 ブルボン

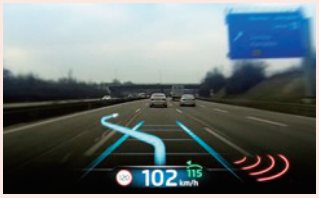
「ビスケットシェア日本一」

ロングセラーから時代のニーズに合わせた商品まで、加工度が高くバラエティ豊かな商品を生産しています。

■日本精機 株式会社

「自動車、オートバイ用メーターの世界シェアトップクラス」

メーター事業を軸とし現在は、運転者が前方視線のまま、車の状態や周辺情報をより早く、より確実に確認できるヘッドアップディスプレイの開発に注力しています。



■株式会社 コロナ

「国内で初めて石油ストーブを開発」

昭和30年に国内で初めて石油ストーブを開発し、現在も多様な石油暖房機器を製造しています。また、省エネ給湯器のエコキュートを世界で初めて開発しました。

■ヨネックス 株式会社

「世界のトッププロも愛用するスポーツブランド」

バドミントン・テニス・ゴルフ用品を中心にグローバルに事業を展開しており、新潟県内の自社工場で製造される最新モデルは世界で活躍するトッププロにも愛用されています。

■デンカ 株式会社

「工業用ゴムから医薬品まで幅広く製造」

耐久性に優れる「クロロプレンゴム」から、インフルエンザワクチンや新型コロナウイルス検査キットまで、幅広い製品を製造しています。

■越後製菓 株式会社

「新チャレンジを続ける米菓会社」

生活に欠かせない食品を日々製造する中で、JAXAによる宇宙日本食認証を取得した「切り餅」も開発しています。

三条・燕地域の金属加工

産地の商品例
タンブラー

■山崎金属工業 株式会社

国内を代表する集積地であり、カトラリーは、ノーベル賞受賞式後の晩餐会や東京オリンピックの選手村でも採用されています。

五泉・見附地域のニット製造

産地の商品例
セーター

出荷額日本一のセーターのほか、東京オリンピック・パラリンピックで採用された水着も製造しています。

■新潟染工 株式会社

詳しくは「にいがた モノ・クリエイト」をご覧ください
https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/chiikishinko/mono-create.html

2 伝統工芸品

新潟県内には地域の気候風土を活かした様々な工芸品があります。

なかでも、経済産業大臣指定の「伝統的工芸品」は17品目にのぼり、これは東京都に次ぎ、京都府と並ぶ全国で2番目の数です。また、令和４年１月に県の指定制度を創設し、15品目を「新潟県伝統工芸品」として指定しています。

承認番号 R6-007

『伝統マーク』

この伝統マークを使った「伝統証紙」が貼られている工芸品は、産地組合等が実施する検査に合格した経済産業大臣指定伝統工芸品です。

『県伝統工芸品ロゴマーク』

伝統の「伝」の文字を、新潟県の県鳥であるトキのデザインに掛け合わせ、新潟らしさの溢れるマークとなっています。

このロゴマークは県内の学生によってデザインされました。

経済産業大臣指定 伝統的工芸品		新潟県伝統工芸品	
小千谷縮（ちぢみ）	小千谷紬（つむぎ）	小国和紙	寺泊山田の曲物（まげもの）
塩沢紬（つむぎ）	本塩沢（ほん）	三条六角巻凧（まきいか）	大谷地和紙
十日町絣（がすり）	十日町明石ちぢみ（あかし）	新潟県産打揚花火	十日町友禅
新潟・白根仏壇（ぶつだん）	三条仏壇（ぶつだん）	上越パテンレース	庵地焼旗野窯（あんちやき はたのがま）
長岡仏壇（ぶつだん）	村上木彫堆朱（きぼりついしゅ）	安田瓦鬼瓦（やすだがわら おにがわら）	越後本染注染手拭（えちごほんぞめちゅうせんてぬぐい）
加茂桐箪笥（きりたんす）	燕鎚起銅器（つい きどうき）	出雲崎手作り紙風船	新潟手掛け和蝋燭（てがけ わろうそく）
越後与板打刃物（うちはもの）	新潟漆器（しっき）	新津焼	加茂紙（かも がみ）
羽越しな布（うえつ ふ）	越後三条打刃物（うちはもの）	加茂屏風（びょうぶ）	
佐渡無名異焼（さど むみょうい やき）			

■小千谷紬

原料は玉糸と真綿の手紡ぎ糸で、絹独特の光沢と肌触りの良さ、軽く温かみのある地風が魅力の絣織物です。

■寺泊山田の曲物

檜（ひのき）や唐檜（とうひ）の曲輪を山桜の皮で綴じ合わせ、製作されていることが特徴です。

■佐渡無名異焼

佐渡島内で産出する「無名異土」と呼ばれる酸化鉄を多量に含んだ赤土を原料とする焼物です。

3 成長分野の産業振興

日本のものづくり産業を牽引（けんいん）し、支えてきた新潟の技術力。県内各地で、今後成長が期待される産業への進出が始まっています。

■県内産業のDX

県内企業のデジタルトランスフォーメーションを促進し、より付加価値の高い産業構造への転換につなげます。

県内産業のDX推進の方向性

■デジタルものづくり

工業技術総合研究所では、ロボットによるＡＩ（人工知能）を活用した良否判定などの研究開発を通じて、県内ものづくり企業を支援しています。

■新しいエネルギーの利用

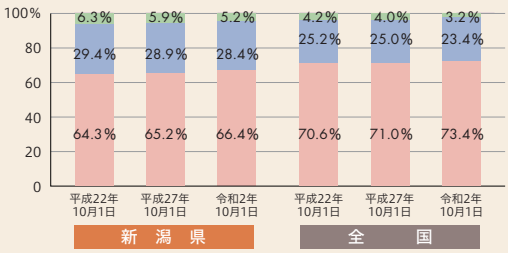
将来のエネルギー選択（せんたく）の幅を拡大させるため、多様な地域資源を活用し、風力、水力、バイオマス、地中熱などの再生可能エネルギーの導入を促進するとともに、再生可能・次世代エネルギー分野への県内企業の参入を支援（しえん）し、関連産業の育成を図っています。

新潟県が開発・製造した小型燃料電池バス

胎内ウインドファーム
（胎内市村松浜・中村浜・笹口浜付近）

■防災産業

本県がこれまでの災害経験で蓄積（ちくせき）したノウハウ等を活かして、プラットフォームを中心に産学官連携（さんがくかんれんけい）による防災関連産業の新たなビジネス創出（そうしゅつ）に取り組んでいます。



資料：県統計課「新潟県の主要指標」

産業別統計

			新潟県	全国
農業	農家数	R2年	62,556戸	1,747,079戸
	農業経営体数		43,502戸	1,075,705戸
	うち個人経営		41,955戸	1,037,342戸
	うち団体経営		1,547戸	38,363戸
	基幹的農業従事者数		46,085人	1,363,038人
	農業産出額	R4年	2,369億円	90,015億円
工業	従業者数	R5年	180,493人	7,751,935人
	製造品出荷額等	R4年	53,983億円	3,617,749億円
商業	従業者数	R3年	197,540人	11,397,130人
	年間商品販売額	R2年	65,569億円	5,398,139億円

資料：県統計課「新潟県の主要指標」

新潟県で働くことをイメージしてみよう！
県内のさまざまな企業を動画で紹介（しょうかい）しています。
https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/shigototeijyu/1356799302219.html

農林水産業

広大な県土と豊かな自然に恵まれた新潟県は、農林水産業も盛んです。作付面積・生産量ともに全国１位を誇るお米のほかにも、おいしい食材を生産し、全国の消費者に「豊かな食」を届けています。県では、新潟米・錦鯉のほか、次の品目を県推進ブランド品目とし、「うまいに、まっすぐ。新潟県」として、認知度向上を図っています。

うまいに、まっすぐ。新潟県

新潟産えだまめ

県産えだまめの中でも新潟茶豆は独特の香りとかむほどに広がる旨みが特徴。旨み成分が一番多い８分ざや（８割程度の豆の太り）で収穫する食味重視の逸品。

主な産地／新潟市、弥彦村、長岡市、十日町市、上越市

南蛮エビ

甘エビとも呼ばれるが、新潟では鮮やかな赤い色と形が南蛮唐辛子に似ていることから「南蛮エビ」と呼ぶ。新潟沖で育った南蛮エビはプリプリの食感と口に広がる甘みが特徴。

主な産地／佐渡市、村上市、新潟市、糸魚川市

越後姫

可憐でみずみずしくお姫様のようなので「越後姫」と名付けられた。新潟県が育成した品種。ジューシーで甘みが強く、香り高いいちご。

主な産地／新潟市、新発田市、五泉市

ル レクチエ

フランスで生まれ、新潟で育ったエレガントな西洋なし。冬の限られた期間だけ出回る希少品で、豊かな香りととろけるような食感が特徴。

主な産地／新潟市、加茂市、三条市、佐渡市

のどぐろ

「白身の王様」とも呼ばれ、新潟を代表する高級魚。特に、県の高規格基準をクリアしたのどぐろは、最高級ブランド「美宝」として出荷される。

主な産地／新潟市、村上市、糸魚川市、佐渡市

にいがた和牛

雪が生み出す清らかな水や良質な飼料をふんだんに与え、愛情込めて育てられた「にいがた和牛」は、肉のうまみ、脂の風味に自信あり。口の中で肉汁とともに肉がとろける食感は絶品。

主な産地／村上市、胎内市、新発田市、長岡市、上越市

にいがたの美味しいものカレンダー

1月	2月	3月	4月	5月	6月
とう菜 マダラ ヤリイカ アンコウ	マガキ ミズダコ	サヨリ ワカメ	越後姫 サクラマス 雪下にんじん	アスパラガス きゅうり トマト 乾しいたけ マダイ	そらまめ おうとう （さくらんぼ）
7月	**8月**	**9月**	**10月**	**11月**	**12月**
なす すいか メロン タチウオ	えだまめ スイートコーン 桃 ぶどう アユ	コシヒカリ 日本なし いちじく サザエ のどぐろ	新之助 ネギ さといも かきのもと 柿 きのこ マガレイ れんこん	だいこん じねんじょ きのこ 南蛮エビ ヤナギガレイ	ル レクチエ きのこ ブリ 鮭

稲作

新潟の米 コシヒカリ

新潟県は作付面積、生産量ともに全国トップの米産地です。また、米の産出額は全国第1位で、県全体の農業産出額の約6割を占めています。

新潟県産のコシヒカリは全国に出荷され、「おいしいお米」の代名詞として広く知られています。2005年には従来のコシヒカリよりも農薬を減らした栽培ができる「コシヒカリBL」を導入し、環境にやさしく、安全・安心な米づくりを推進しています。

新潟の米 新之助

2017（平成29）年にデビューした新しい品種です。地球温暖化の進行に備え、暑さに強い特性を持ち、収穫時期が遅いため夏の猛暑を避けることができる晩生の品種として、新潟県が開発しました。

大粒で甘みとコクがあり、ほど良い粘りと弾力のあるしっかりとした食感と粒感が魅力で、コシヒカリとは異なるおいしさのお米です。

紅白のパッケージは、お祝いごとや格別な日にふさわしいデザインです。

「めでたさと期待」を表現した新之助のパッケージ

米粉の普及！にいがた発「R10プロジェクト」

新潟県では食料自給率向上のため、輸入に頼る小麦粉消費量の10％を国産米粉に置き換える、にいがた発「R10プロジェクト」に取り組んでいます。県が開発した微細製粉技術で作られた米粉は、様々な食品に活用でき、食品メーカーや飲食店などで広く利用されています。

米粉PRキャラクター
コメパンマン
©やなせたかし

稲作だけじゃない！ 全国に自慢できる 新潟の農林水産業

野菜、果物、花き

海岸沿いの砂丘地から山場の中山間地まで、特色ある気候風土を活かして多種多様な野菜、果物、花きが生産されています。

なかでも、えだまめやすいか、チューリップの球根、ユリの切り花の栽培面積は、全国トップクラスです。そのほか、柿や梨などの果物も多く栽培され、全国的にも有名です。

林業

新潟県内の森林は、県総面積の約7割を占め、豊かな水の供給や災害防止、木材の提供など、生活に役立っています。

県産材は住宅建築やバイオマス燃料用などに利用され、人工林の多くを占めるスギが使用されています。

また、きのこは、えのきたけやなめこ、しいたけ、まいたけなど様々な種類が生産され、その生産量は全国第2位となっています。

畜産

県内では広く酪農、肉用牛、養豚、養鶏が営まれ、牛乳や食肉などが生産されています。

また、令和5年度に20周年を迎えた「にいがた和牛」など、安全・安心で品質の高い畜産物の生産と販売の拡大を推進しています。

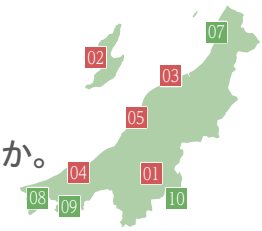
水産業

635kmの海岸線を有する新潟県は、多様な漁場に恵まれ、ブリ、南蛮エビ、イカ、ズワイガニなど、様々な魚種が水揚げされるほか、佐渡島ではカキやギンザケの養殖が行われています。

また、中越地方の中山間地域は、「泳ぐ宝石」といわれる錦鯉（県の鑑賞魚）の発祥の地であり、養殖が盛んです。

観光

全国で５番目に面積が広い新潟県。
自然や歴史・文化、温泉、おいしい食材など、
世界中に自慢できるものがたくさんあります。
多彩な魅力があふれる県内各地へ、皆さんも出かけてみませんか。



歴史・文化

偉人とゆかりのある名所や豪農の館など、
越後の歴史を味わえるスポットがたくさん。
様々な時代の文化・芸術を楽しむこともできます。

01 西福寺（開山堂）　魚沼市

「日本のミケランジェロ」と称される江戸時代の名工・石川雲蝶。天井彫刻は圧巻の一言です。

02 史跡佐渡金山　佐渡市

江戸時代から平成元年の休山までの金銀採掘の遺跡や建造物が数多く残る佐渡。史跡佐渡金山は、当時の金銀の生産の様子を今に伝えます。

03 古町芸妓　新潟市

日本三大芸妓として、200年の伝統を誇る新潟古町芸妓。みなとまち新潟市を代表する文化です。

04 林泉寺　上越市

戦国時代の名将・上杉謙信公が少年期に修行を積んだお寺です。

05 大河津分水　燕市

信濃川が増水して越後平野で氾濫する前に、海へ流し出すために作られた人工の河川。旧洗堰は国登録有形文化財。

自然・景観

海や山のダイナミックな地形美や、
米どころならではの田園風景、
神秘的な空気に満ちた秘境など、
心に残る景色が新潟にはあります。

06 棚田　長岡市 十日町市 佐渡市 など

山の斜面などに階段上に造られた田んぼ。日本の原風景として愛されています。

07 笹川流れ　村上市

奇岩、岩礁や洞窟など、変化に富んだ風景が広がる笹川流れ。国の名勝天然記念物に指定されています。

08 高浪の池［糸魚川ユネスコ世界ジオパーク］　糸魚川市

糸魚川ジオパークの小滝川ヒスイ峡近くにある神秘的な池。巨大魚の目撃情報も…

09 苗名滝　妙高市

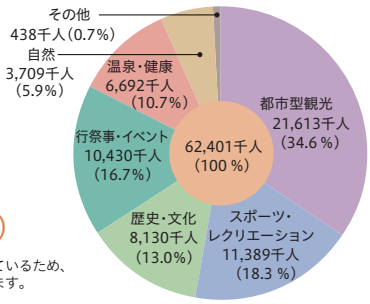
日本の滝百選のひとつ。柱状節理の玄武岩壁から水しぶきを上げて落ちる光景は迫力満点。

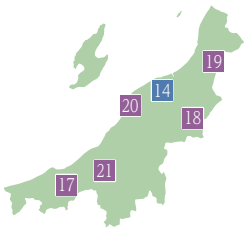
10 尾瀬　魚沼市 ほか

山々に囲まれた日本最大の山岳湿地。湿原の中に木道が整備されており、季節ごとに様々な景色が楽しめます。

令和５年 観光入込客数（分類別・延人数）

注）それぞれの数値を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。





まだまだ他にも魅力いっぱい！
詳しくはにいがた観光ナビの
ホームページをご覧ください。
https://niigata-kankou.or.jp/

温泉・スポーツ レジャー

海、山、渓流と、豊かな自然に恵まれた新潟。
アウトドアやスポーツ観戦、音楽祭など、
新潟の楽しみ方はますます広がります。

11 温泉 県内各地

全国で3番目に温泉地が多い新潟県。何度も訪れたい温泉宿や日帰り湯がたくさんあります。

12 スキー・スノーボード 県内各地

毎年多くのスキーヤー、スノーボーダーが新潟にやってきます。最近は海外からのスキー客も急増中です。

13 登山・トレッキング 県内各地

越後三山、日本百名山など数多くの名峰がある新潟。登山・トレッキングも楽しみ方のひとつ。

14 アルビレックス新潟

熱いサポーターの応援は圧巻。試合の日には、スタンドがオレンジ一色に染まります。

15 海水浴場 県内各地

風光明媚な景色やビーチでのアクティビティを楽しみに県内外から多くの観光客が訪れます。

行祭事・イベント

地域に伝わるお祭りや、文化や自然を満喫できる催しなど、
その時、その場所でしか味わえない感動を味わってみませんか。

16 夏まつり、花火大会 県内各地

夏の間、各地で花火大会が開催される「花火王国・新潟」。特に、海の柏崎、川の長岡、山の片貝は「越後三大花火」と言われています。

17 高田城址公園観桜会 上越市

桜とライトアップされた高田城三重櫓が堀の水面に映え、その美しさから日本三大夜桜のひとつとされています。

18 つがわ 狐の嫁入り行列 阿賀町

白無垢をまとった花嫁が従者を引き連れ、狐の真似をしながら練り歩く津川の伝統行事。

19 えちごせきかわ 大したもん蛇まつり 関川村

大蛇伝説と水害からの復興をテーマにした祭り。ギネスブックにも認定された大蛇がねり歩きます。

20 弥彦菊まつり 弥彦村

約4,000鉢の色鮮やかな菊が彌彦神社の境内に並ぶ、秋の行事を代表する新潟県菊花展覧会です。

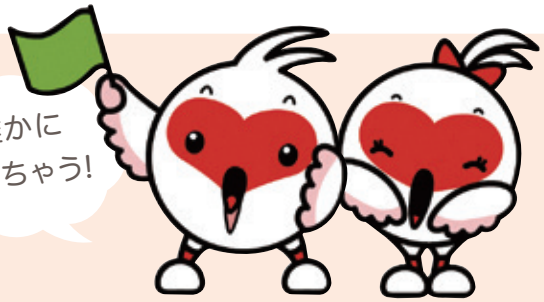
21 十日町雪まつり 十日町市

昭和25年に全国に先がけて始まった雪まつり。高い芸術性と迫力のある雪の芸術作品は必見。

新潟県あれこれ全国ベスト3

第1位

ついつい誰かに
教えたくなっちゃう!



最長河川（信濃川）
367km（令和5年4月30日）
第2位／利根川 322km
第3位／石狩川 268km
国土交通省水管理・国土保全局 水政課「河川管理統計」

新幹線駅数
7駅（令和6年3月31日）
第1位／岩手県 7駅
第3位／静岡県 6駅
県統計課調べ(JR各社営業情報より)

米の産出額
1,319億円（令和4年）
第2位／北海道 1,067億円
第3位／秋田県 852億円
農林水産省大臣官房統計部「生産農業所得統計」

水稲（すいとう）作付面積（子実用（しじつ））
115,800ha（令和5年7月15日）
第2位／北海道 93,300ha
第3位／秋田県 83,000ha
農林水産省大臣官房統計部「作物統計」

ハクチョウ類飛来数
22,925羽（令和6年1月）
第2位／宮城県 14,550羽
第3位／山形県 9,274羽
環境省自然環境局「ガンカモ類の生息調査（速報値）」

えだまめ作付面積
1,410ha（令和5年）
第1位／山形県 1,410ha
第3位／北海道 1,270ha
農林水産省大臣官房統計部「指定野菜（秋冬野菜等）及び指定野菜に準ずる野菜の作付面積、収穫量及び出荷量」

球根類収穫面積
84ha（令和5年）
第2位／富山県 52ha
第3位／鹿児島県 30ha
農林水産省大臣官房統計部「花きの作付（収穫）面積及び出荷量」

米菓の出荷額
1,592億円（令和4年）
第2位／栃木県 176億円
第3位／埼玉県 175億円
総務省・経済産業省「2023年経済構造実態調査」

金属洋食器の出荷額
131億円（令和4年）
総務省・経済産業省「2023年経済構造実態調査」

切餅（きりもち）・包装餅の出荷額
277億円（令和4年）
総務省・経済産業省「2023年経済構造実態調査」

ニット製女子セーター他の出荷額
90億円（令和4年）
第2位／大阪府 48億円
第3位／山形県 38億円
総務省・経済産業省「2023年経済構造実態調査」

ニット製男子セーター他の出荷額
12億円（令和4年）
総務省・経済産業省「2023年経済構造実態調査」

清酒消費数量（20歳以上1人当たり）
8.3ℓ（令和4年度）
第2位／秋田県 6.9ℓ
第3位／山形県 6.1ℓ
国税庁「国税庁統計年報」

石油ストーブの出荷額
432億円（令和4年）
総務省・経済産業省「2023年経済構造実態調査」

原油の生産量
275,292kℓ（令和4年）
経済産業省大臣官房調査統計グループ「経済産業省生産動態統計」

天然ガスの生産量
1,603,084千㎥（令和4年）
経済産業省大臣官房調査統計グループ「経済産業省生産動態統計」

重要有形民俗（みんぞく）文化財指定件数（国指定）
17件（令和6年10月1日）
第2位／石川県 14件
岐阜県 14件
文化庁「国宝・重要文化財等都道府県別指定件数一覧」

清酒製造免許場（めんきょじょう）数
101場（令和5年3月31日）
第2位／兵庫県 90場
第3位／長野県 85場
国税庁「国税庁統計年報」

むし歯の本数（12歳児1人当たり）
0.3本（令和4年度）
第1位／岐阜県、愛知県 0.3本
文部科学省総合教育政策局「学校保健統計調査」

チューリップ（切り花）産出額
7億円（令和4年）
第2位／埼玉県 4億円
第3位／富山県 3億円
農林水産省大臣官房統計部「生産農業所得統計」

高等学校等進学率
99.57%（令和5年3月卒業）
第2位／石川県 99.43%
第3位／福井県 99.31%
文部科学省総合教育政策局「学校基本調査」

神社の数（宗教法人数）
4,672社（令和4年12月31日）
第2位／兵庫県 3,852社
第3位／福岡県 3,409社
文化庁「宗教統計調査」

※魚肉ハム・ソーセージを除く 水産練製品の出荷額
342億円（令和4年）
第2位／兵庫県 295億円
第3位／山口県 253億円
総務省・経済産業省「2023年経済構造実態調査」

観賞用錦鯉養殖業経営体数
220経営体（令和5年11月1日）
第2位／広島県 21経営体
第3位／岐阜県 14経営体
農林水産省大臣官房統計部「2023年漁業センサス（概数値）」

新潟県あれこれ全国ベスト3

第2位

なす作付面積
430ha（令和5年）
第1位／群馬県 505ha
第3位／茨城県 409ha
農林水産省大臣官房統計部「指定野菜（春野菜、夏秋野菜等）の作付面積、収穫量及び出荷量」

耕地面積
167,200ha
（令和5年7月15日）
第1位／北海道 1,141,000ha
第3位／茨城県 159,400ha
農林水産省大臣官房統計部「面積調査」

自然公園面積
317,406ha
（令和6年8月8日）
第1位／北海道 1,022,400ha
第3位／長野県 278,582ha
環境省自然環境局「自然公園都道府県別面積総括」

栽培きのこ類の産出額
418億円（令和4年）
第1位／長野県 487億円
第3位／福岡県 106億円
農林水産省大臣官房統計部「林業産出額」

重要無形民俗文化財指定件数（国指定）
13件（令和6年10月1日）
第1位／秋田県 17件
第3位／岐阜県 静岡県 愛知県 鹿児島県 12件
文化庁「国宝・重要文化財等都道府県別指定件数一覧」

国・県道の実延長
6,658km（令和4年3月31日）
第1位／北海道 18,727km
第3位／福島県 6,220km
国土交通省道路局「道路統計年報」

西洋なし出荷量
1,360t（令和5年）
第1位／山形県 11,700t
第3位／青森県 1,240t
農林水産省大臣官房統計部「西洋なし、かき、くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量」

中学女子バレーボール部員数（中学女子100人当たり）
13.08人（令和5年度）
第1位／島根県 13.34人
第3位／福島県 12.44人
公益財団法人 日本中学校体育連盟「加盟校調査」

消防団員数
31,286人
（令和5年4月1日）
第1位／兵庫県 38,777人
第3位／長野県 29,550人
消防庁「消防白書」

鉢もの類（花木類）出荷量
449万鉢
（令和5年）
第1位／愛知県 681万鉢
第3位／岐阜県 389万鉢
農林水産省大臣官房統計部「花きの作付（収穫）面積及び出荷量」

高速自動車道の開通延長
440km
（令和5年3月31日）
第1位／北海道 788km
第3位／福島県 413km
全国高速道路建設協議会「高速道路便覧」

建設業従業者数（人口10万人当たり）
4,327.2人
（令和3年6月1日）
総務省・経済産業省「令和3年経済センサス－活動調査結果」

中学男子陸上競技部員数（中学男子100人当たり）
12.36人（令和5年度）
第1位／青森県 13.62人
第3位／福島県 11.82人
公益財団法人 日本中学校体育連盟「加盟校調査」

第3位

球根類の出荷量
1,130万球（令和5年）
第1位／鹿児島県 1,610万球
第2位／富山県 1,240万球
農林水産省大臣官房統計部「花きの作付（収穫）面積及び出荷量」

ゆり切り花の出荷量
964万本
（令和5年）
第1位／埼玉県 2,240万本
第2位／高知県 1,010万本
農林水産省大臣官房統計部「花きの作付（収穫）面積及び出荷量」

清酒（濁酒を含む）の出荷額
419億円（令和4年）
第1位／兵庫県 802億円
第2位／京都府 424億円
総務省・経済産業省「2023年経済構造実態調査」

温泉地の数（宿泊施設のある）
142か所
（令和5年3月31日）
第1位／北海道 230か所
第2位／長野県 194か所
環境省自然環境局「温泉利用状況」

伝統的工芸品指定品目数（国指定）
16品目（令和5年10月26日）
第1位／東京都 22品目
第2位／京都府 17品目
第3位／沖縄県 16品目
経済産業省「伝統的工芸品指定品目一覧」

石油にまつわる新潟の日本初・世界初

「新潟県あれこれ全国ベスト3」のコーナーでも紹介したとおり、新潟県は原油の生産量が全国1位です。

そんな新潟県には石油にまつわる日本初・世界初があります。

胎内市の黒川石油公園は、日本最古の石油発祥の地と考えられています。「天智天皇7年（668年）越国、燃ゆる土、燃ゆる水を献ず」と日本書紀にも記されており、「燃ゆる水」（原油）の湧き出た場所がここだと言われています。

また、出雲崎町には尼瀬油田という油田がかつてありました。最盛期には手掘りの油井が150本も造られるなど石油開発が盛んだったこの地では、明治24年（1891年）に日本で初めて機械掘りによる石油掘削に成功しました。

その後、海面を埋め立て、世界で初めて商用として海底油田を掘削しました。

石油産業発祥の地として日本の石油資源を支えた尼瀬油田ですが、1980年代に採掘は終了し、現在は「石油記念公園」として整備されています。

1,300年前に天智天皇へ献上した原油（胎内市）

石油記念公園（出雲崎町）

交通と国際交流

新潟は、古くから日本海側の海陸交通の要衝（ようしょう）として栄えてきました。昭和57年の上越新幹線開業をはじめ北陸新幹線の開業、関越道・北陸道・磐越（ばんえつ）道・上信越道・日東道の5高速自動車道の開通など、高速交通体系の整備が着々と進められてきました。

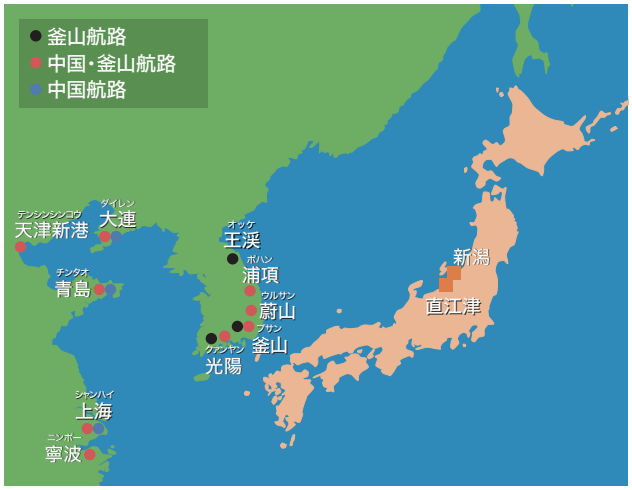
また、様々な地域との交流を図るため、空港や港湾（こうわん）の整備と、新しい航路や航空路の開設が進められています。

新潟空港は、北東アジアや国内主要都市と定期路線で結ばれ、中部国際・ソウル・上海（しゃんはい）などで乗り継ぐことで、世界各地へ旅することができます。また、令和6年に新潟を拠点とする地域航空会社トキエアが就航し、札幌（丘珠）や仙台、名古屋への航空路が開通しました。

新潟港・直江津港は、韓国（かんこく）や中国など主に東アジアの港湾と外貿定期コンテナ航路で結ばれています。また、釜山（ぷさん）港や上海港などで貨物を積み替（か）えることにより、世界各地と貨物をやり取りすることが可能です。現在、新潟港は週9便、直江津港は週2便の定期航路があります。

経済のグローバル化や人々の活動範囲（はんい）の拡大に対応するため、ますます発展する北東アジア経済圏（けん）の拠点にふさわしいネットワークづくりが進められています。

外貿定期航路



令和7年1月末現在

定期航空路

令和7年1月末現在

詳しくは新潟県交通政策局のホームページをご覧ください https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kotsu/

新潟県では、地理的、歴史的な優位性を活かし、北東アジアを中心とした地域と経済・文化・教育・農林水産など多様な分野において交流を行っています。

また、北東アジアとの交流を強化する一方で、成長著しい東南アジア地域などとの経済交流や文化・教育などの人的交流も進めています。

経済交流の促進

新潟県は、中国、韓国、台湾など、アジア地域との貿易額が多くを占めています。品目別では、輸出は化学品が最も多くなっています。

また、平成2年(1990年)、「新潟県ソウル事務所」を開設したのに次いで、平成9年(1997年)には、中国との経済交流拠点となる「新潟県大連経済事務所」を開設し、対岸諸国との経済交流等を推進しています。このほか、北米・東南アジア地域などとのビジネスマッチングなど、県内企業の海外展開支援に取り組んでいます。

ハルビン(中国)での国際見本市

友好・姉妹交流

新潟県は、令和5年(2023年)に友好提携40周年を迎えた黒龍江省(中国)と学術・技術・経済などの分野で幅広い交流を行っているほか、中国東北3省、ロシア極東地域、韓国、モンゴル、ベトナムなどとも様々な交流を進めています。

また、学校等での国際理解教育を支援するため、国際交流出前講座も実施しています。

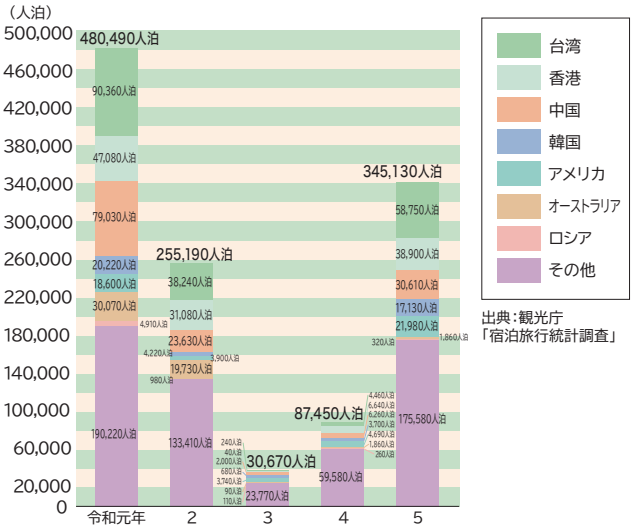
なお、県内に住む外国人の国籍別の内訳は、ベトナムが最も多く、次いで中国、フィリピン、インドネシアの順となっています。

国際交流出前講座

国際交流を行っている主な都市

詳しくは新潟県産業政策課のホームページをご覧ください
https://www.pref.niigata.lg.jp/site/sangyoseisaku/

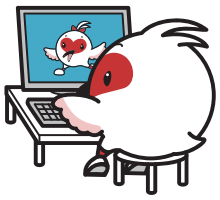
外国人延べ宿泊数(人泊)



出典:観光庁「宿泊旅行統計調査」

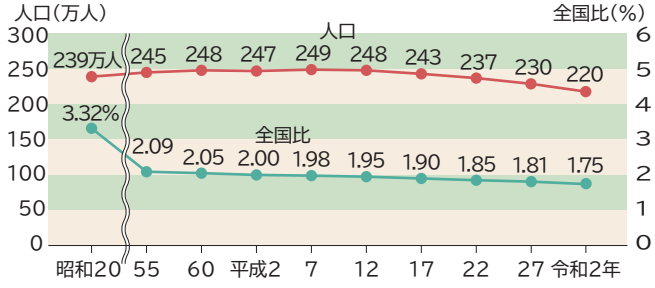
詳しくは新潟県国際課のホームページをご覧ください
https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kokusai/

データで見る新潟県

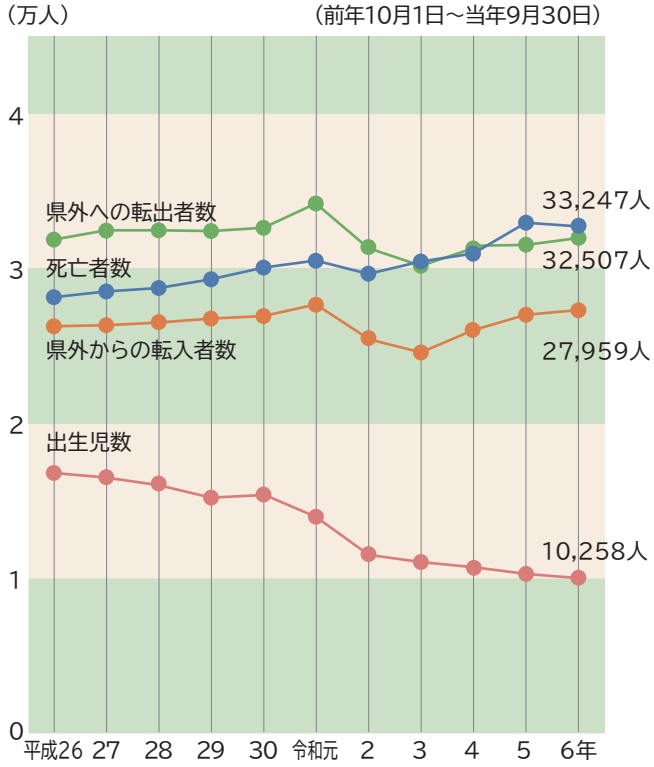


人口の推移と全国に占める割合

資料/総務省統計局「国勢調査結果」



人口の増減 資料/県統計課「新潟県の人口移動」

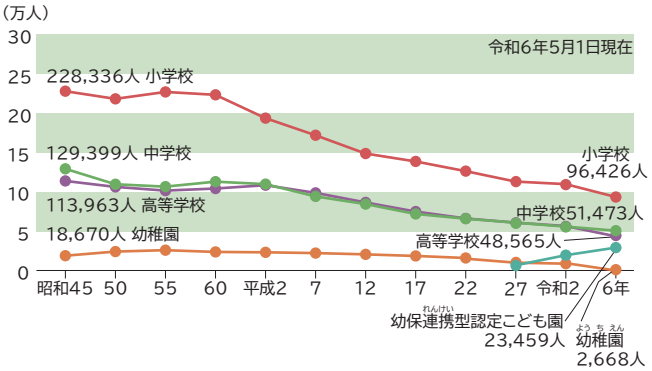


出生児数(10,258人)－死亡者数(33,247人)＝22,989人の自然減

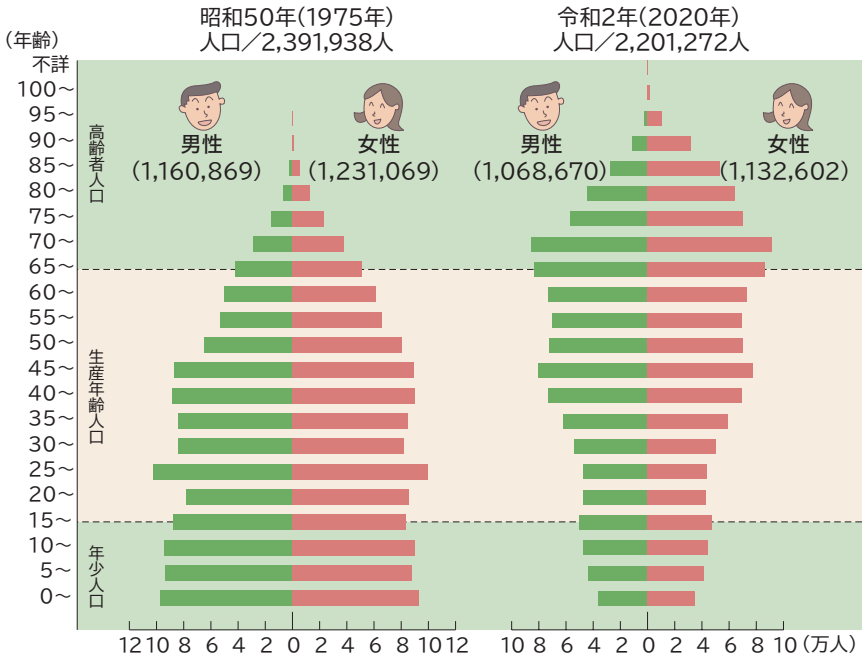
転入者数(27,959人)－転出者数(32,507人)＝ 4,548人の社会減

児童・生徒・園児数の推移

資料/県統計課「学校基本調査」

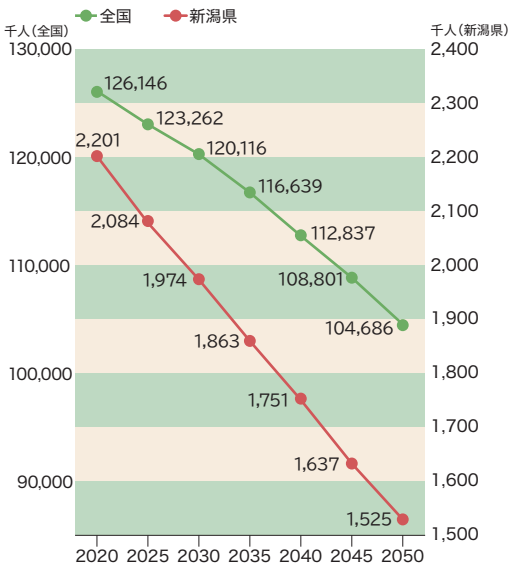


人口構造のうつりかわり 資料/総務省統計局「国勢調査結果」

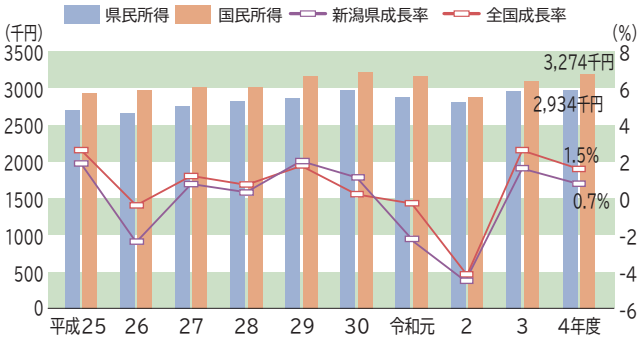


将来人口推計

資料／国立社会保障・人口問題研究所
「日本の将来推計人口(令和5年推計)」
「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

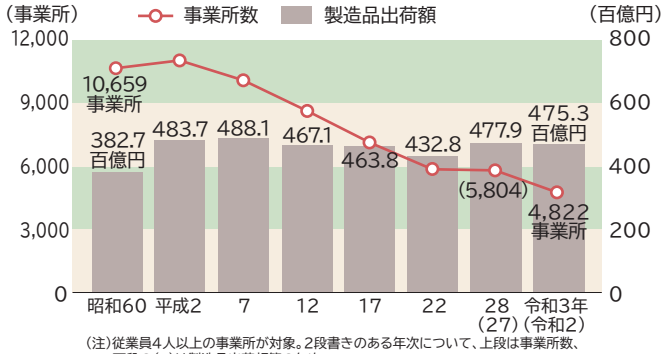


1人当たり県(国)民所得と経済成長率(実質)の推移



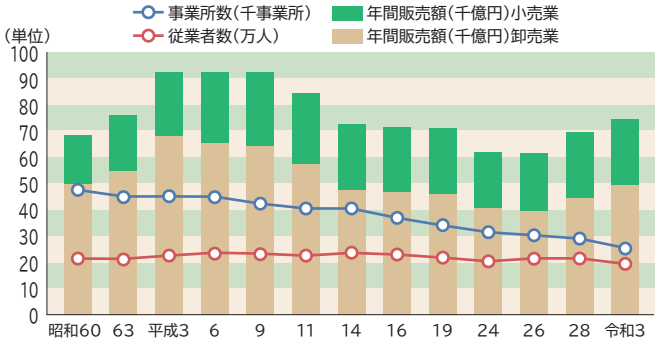
資料:県統計課「令和4年度 新潟県県民経済計算」

製造業の事業所数と製造品出荷額等の推移



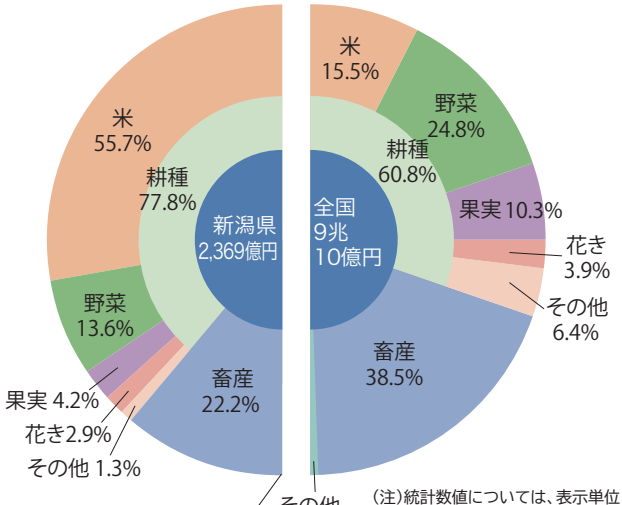
(注)従業員4人以上の事業所が対象。2段書きのある年次について、上段は事業所数、下段の( )は製造品出荷額等の年次。
資料: 県統計課「にいがた県の工業」

商業の事業所数・従業者数及び年間商品販売額の推移(飲食店を除く)



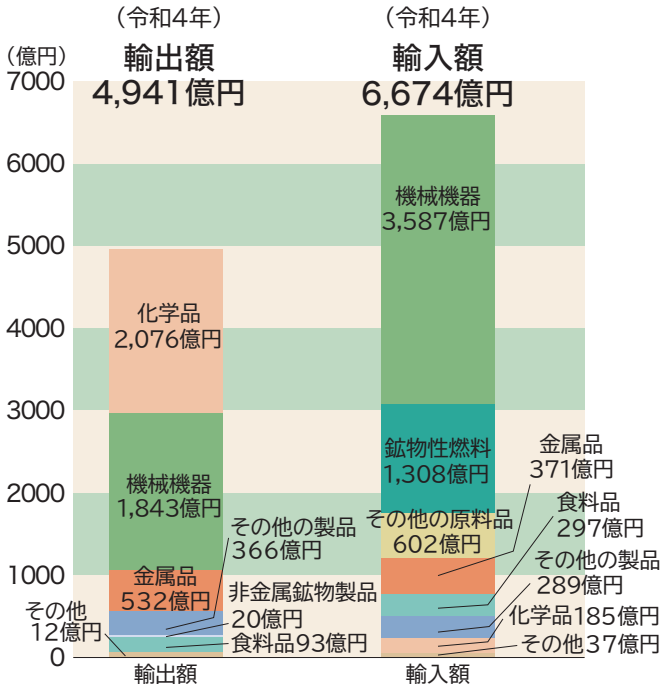
資料:総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」、経済産業省「商業統計調査」

農業産出額 令和4年



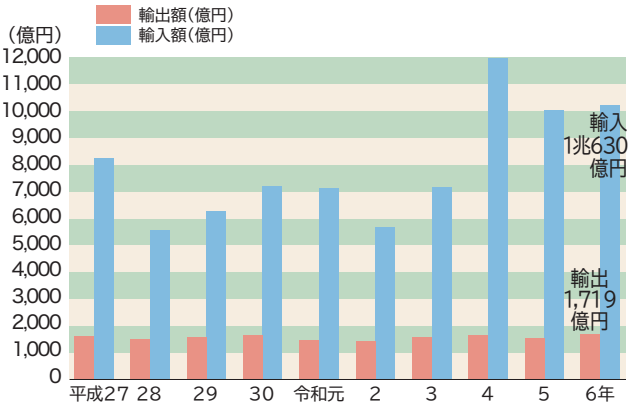
(注)統計数値については、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。
資料:農林水産省大臣官房統計部「生産農業所得統計」

品目別輸出入状況



(出所:令和5年度新潟県輸出入状況・海外進出状況調査)
(注)端数があるため内訳の計と合計は一致しない

貿易額の推移
(新潟港、直江津港、柏崎港及び新潟空港)



資料:新潟税関支署「新潟税関支署管内貿易概況速報」

詳しくは新潟県ホームページ「にいがた県統計ボックス」のホームページをご覧ください
https://www.pref.niigata.lg.jp/site/tokei/

災害と防災

近年、大きな災害にたびたび襲われた新潟県。
皆さんも過去の経験から、防災意識を向上させ、
日頃の備えを万全にしておきましょう。

新潟県防災ナビ

新潟県では、避難情報や気象情報がプッシュ通知で届く「新潟県防災ナビ」を運用しています。

GPS機能を利用し、今いる場所の近くの避難所・避難場所がわかるだけでなく、学校や勤務先、自宅周辺のハザード情報についても手軽に確認することができるアプリです。

自らの命を自ら守るため、ぜひダウンロードいただき、ご活用ください。

詳しくは「新潟県防災ナビ」のホームページをご覧ください
https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/kikitaisaku/1356921834049.html

防災情報
避難情報や気象情報など、最新の防災情報を表示します。

避難所・避難場所検索
現在地周辺の避難所等を自動的に検索して地図上に表示します。

現在地情報
現在地の標高、近辺の避難所数などを表示します。

安否登録
現在地から安否登録ができます。登録されている方の安否確認ができます。

地　震

中越大震災（平成16年）

平成16年10月23日午後5時56分頃、中越地方を中心に広い範囲で地震が発生し、長岡市（旧川口町）で震度7、小千谷市などで震度6強を記録しました。さらに、強い余震が被害を拡大させました。

土砂崩れなどによって、各地で道路が寸断され集落が孤立するとともに、田畑や養鯉池などでも被害が発生し、地域の主要産業である農林業・畜産業・養鯉業などが大きなダメージを受けました。

また、上越新幹線の脱線や北陸・関越自動車道の通行止めなどにより、首都圏との大動脈もストップし、県内経済に深刻な影響を与えました。

地震規模	マグニチュード 6.8
最大震度	震度 7
人的被害	死者 68 人 重軽傷者 4,795 人
住家被害	121,604 棟

中越沖地震（平成19年）

平成19年7月16日午前10時13分頃、上中越沖を震源とする地震が発生し、柏崎市・刈羽村などで震度6強を記録しました。

激しい揺れと液状化現象などにより、多くの住宅や商店が倒壊しました。また、JR信越本線・青海川駅付近で土砂崩れが発生するなど、交通網が寸断されました。

柏崎刈羽原子力発電所では、人体に影響がないごく微量の放射性物質が漏れましたが、運転中だった原子炉の安全機能（止める、冷やす、閉じこめる）は確保されていました。

後日、調査を行ったIAEA（国際原子力機関）も安全機能は確保されていたと評価しています。しかし、新潟県全域で観光客のキャンセルが相次ぐなど、甚大な風評被害が発生しました。

地震規模	マグニチュード 6.8
最大震度	震度 6 強
人的被害	死者 15 人 重軽傷者 2,316 人
住家被害	44,318 棟

能登半島地震（令和６年）

令和6年1月1日午後4時10分頃、石川県能登地方を震源とする最大震度7を観測する地震が発生し、新潟県内でも長岡市で震度6弱、他の12市町村で震度5強を記録しました。

新潟市西区及び江南区を中心とした広い範囲で液状化現象により、住家被害や道路等インフラ被害が発生しました。また、新潟県内では約30年ぶりに津波警報が発表され、被害が発生しました。

地震規模	マグニチュード 7.6
最大震度	震度 7
人的被害（新潟県内）	死者 4名 重軽傷者 54名
住家被害（新潟県内）	24,281棟

（※人的・建物被害は、令和6年12月26日現在の状況です。）

水害・土砂災害

「平成23年7月新潟・福島豪雨」では、三条市の五十嵐川など多くの河川で堤防が決壊したほか、各地で多数の土砂災害が発生し、死者・行方不明者5人、住宅の浸水被害は8,628棟となりました。

直近では、令和4年8月3日から4日にかけて新潟県内で記録的な大雨となり、村上市や関川村をはじめとして多くの河川が氾濫し、流れ込んだ水による浸水被害が発生しました。また、各地で多数の土砂災害が発生し、家屋の倒壊など甚大な被害が発生しました。

市街地の浸水

土砂災害による被害

水害・土砂災害への備え

1 ハザードマップを確認しよう

日頃から危険な箇所や避難場所を確認して、スムーズな避難を！

2 川や気象の情報に注意しよう

川の水位や土砂災害危険度の高まりを把握して、早めの避難を！

新潟県土木防災情報システム

雪　害

新潟県は、これまでに何度も雪による被害を受けています。平成18年豪雪では上中越を中心に豪雪に見舞われ、最大で4mを超える積雪を記録し、津南町では孤立集落が発生するなどしました。

雪害には、雪おろしや除雪中に起こる事故のほか融雪によって誘発される地すべりやなだれがあります。新潟県のなだれ発生件数は全国最多で、大規模な被害も多数発生しています。昭和61年に糸魚川市（旧能生町）の権現岳で発生したなだれは、約1,800mの距離を時速200kmで下り、ふもとの集落で死者13人、負傷者9人全壊家屋8戸という大災害となりました。

なだれの被害に遭わないための心得

●急な斜面には近づかない　●急な積雪・気温上昇に注意！

なだれの前兆

雪庇（せっぴ）

巻だれ

斜面の積雪が平らに

スノーボール

クラック

雪しわ

津　波

平成23年に発生した東日本大震災では、津波により東北の太平洋沿岸は甚大な被害を受けました。

新潟県でも、昭和39年の新潟地震で津波が発生し、高さ約4mに達する津波が押し寄せた地域がありました。また、一部の地域では水が引くまでに1か月以上かかりました。

また、令和6年1月1日の能登半島地震では、県内の広い範囲で津波が観測されました。津波が陸地をはい上がったことで、遡上高5.8mまで到達したことが確認されています。

津波に対する心得

1. 地震による強い揺れを感じたときや弱くても長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、直ちに海岸や河川から離れ、急いでできるだけ高い所に避難する。
2. 揺れを感じなくても、津波警報が発表されたときは、急いでできるだけ高い所に避難する。津波注意報でも海の近くから離れる。
3. 海や河川に様子を見に行かない。
4. 津波は川をさかのぼるので、避難の際に川沿いの道や橋を通ることは避ける。
5. 渋滞に巻き込まれ、避難が困難になる場合があるので、原則として車で避難しない。
6. 船に乗っているときはあわてて港に戻らず、沖合へ向かう。
7. 津波は繰り返し襲ってくるので、警報や注意報の解除まで気をゆるめない。

避難方法

高台へ避難

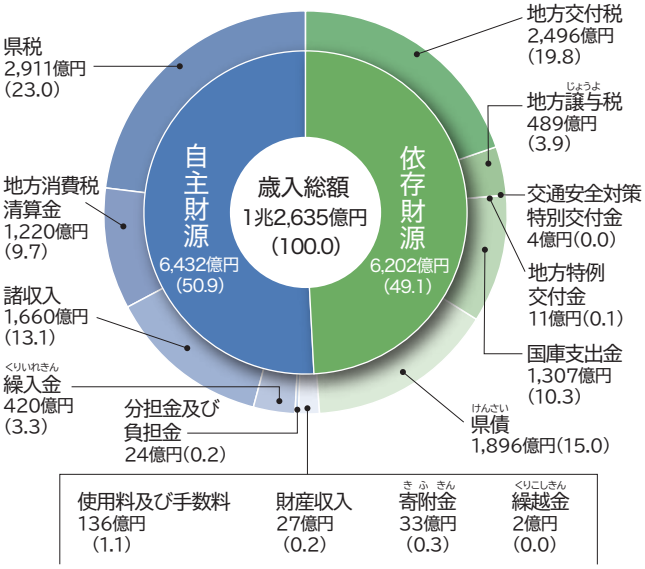
海岸や河川から離れる

新潟県の予算

令和7年度　一般会計の予算規模

1兆2,635億円

歳入の内訳（　）内は構成比(%)



〈歳入〉

■自主財源／県税や貸付金の償還金など、県が自ら見積って確保できる収入をいいます。

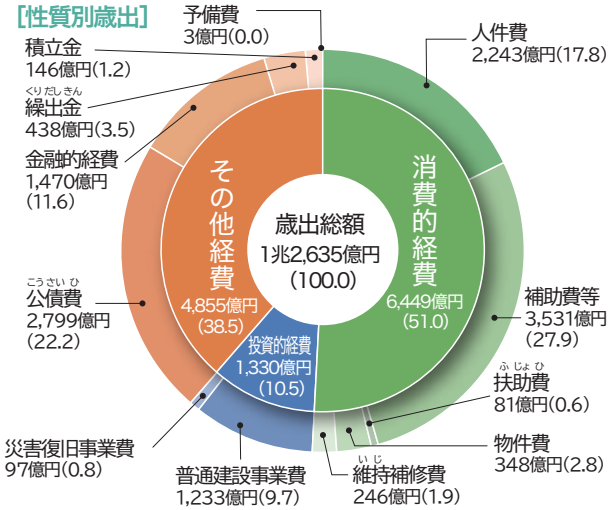
■依存財源／地方交付税や国庫支出金など、国から交付されるものや県債（借入金）をいいます。

〈歳出〉

■消費的経費／人件費や各種団体への助成金など、支出の効果が短期間で終わり、後年度に形を残さない経費をいいます。

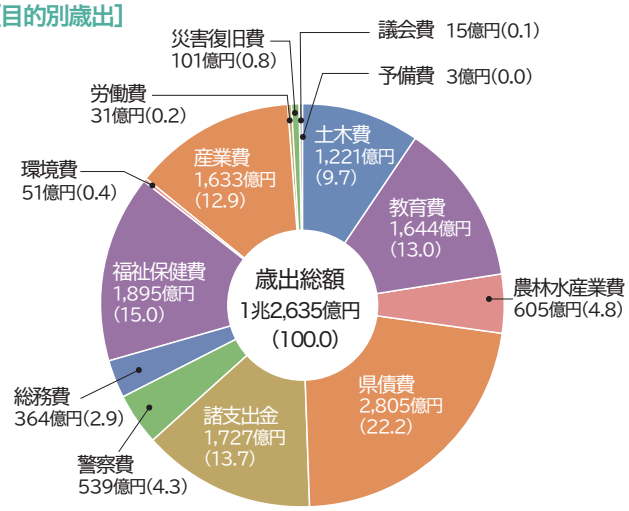
■投資的経費／道路や学校、公園の整備など、将来に形が残るものに支出される経費をいいます。

歳出の内訳（　）内は構成比(%)



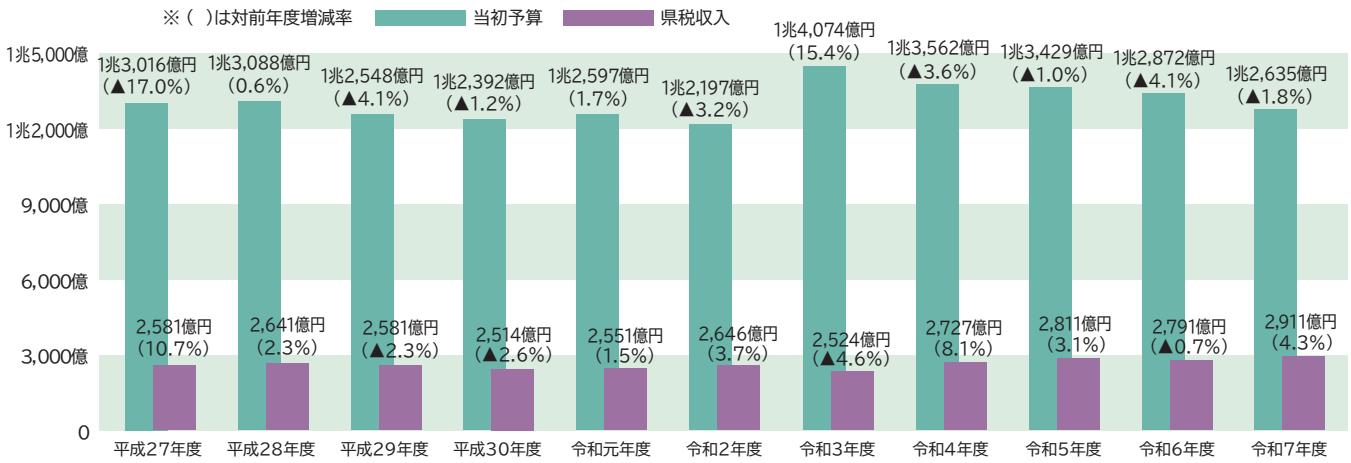
※公債費には県債管理特別会計繰出金分を含む。

[目的別歳出]



（注）それぞれの数値を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

当初予算・県税収入の推移



新潟県総合計画 ～住んでよし、訪れてよしの新潟県～（令和7年度～令和14年度）

将来の人口定常化に向けた人口ビジョン

～本県の中長期的な成長・発展と将来の人口定常化に向けた重要課題への対応～

(1)子育てに優しい社会の実現
(2)持続可能で暮らしやすい地域社会の構築
(3)高い付加価値を創出する産業構造への転換
(4)国際拠点化と戦略的な海外展開・交流促進
(5)脱炭素社会への転換
(6)デジタル改革を通じた生産性向上や社会課題の解決等

将来像

- 将来像Ⅰ 安全に安心して暮らせる、暮らしやすい新潟
- 将来像Ⅱ 地域経済が元気で活力のある新潟
- 将来像Ⅲ 県民一人一人が学び、成長し、活躍できる新潟

「住んでよし、訪れてよしの新潟県」の実現
～国内外の人や企業に選ばれる新潟～

令和7年度当初予算の取組

◆ **県民生活や県内経済が直面する足元の課題への対応**

■ 長期化する物価高の影響を受ける事業者等への支援

◆ **本県の持続的な成長・発展と将来の人口定常化に向けた、「住んでよし、訪れてよしの新潟県」を実現するための重点政策の積極的な推進**

主な事業

○子育てに優しい社会の実現
●若者や女性に選ばれる新潟の実現
・放課後児童クラブ等支援交付金
・「出会いの一歩・縁結び」応援プロジェクト
・女性にとって魅力ある新潟の実現
・スタートアップ成長支援事業

○持続可能で暮らしやすい地域社会の構築
●住み慣れた地域で安心して生活できる社会
・厚生連などの医療機関への経営支援
・ライドシェア導入支援事業
・幹線交通活性化プロジェクト推進事業
・外国人材の受入・定着のための総合対策
●確かな学力の育成と魅力ある学校づくり
・「県立高校の将来構想」推進事業
・重層的で切れ目ない不登校対策事業

○高い付加価値を創出する産業構造への転換
●県内産業の高付加価値化による地域経済の好循環の実現
・官民連携地域創生推進事業
・メディア芸術振興事業
・スマート農業イノベーションによる「儲かる農業」の実現
・「うまいに、まっすぐ。新潟県」ブランドイメージ構築事業

○国際拠点化と戦略的な海外展開・交流促進
●諸外国との交流促進による海外成長市場の取込み
・「佐渡島の金山」を核とした『オール新潟』観光推進パッケージ
・地域公共交通キャッシュレス化推進事業

○脱炭素社会への転換
●脱炭素社会の実現
・次世代型太陽電池実証支援事業

○デジタル改革を通じた生産性向上や社会課題の解決等
●デジタル化を通じた地域の生産性や利便性の向上
・防犯アプリ等を活用した街頭犯罪等の発生抑止

県のしくみと仕事

県民の皆さんが安心して暮らせるためにこんな仕事をしています。

県庁の組織 令和7年4月1日時点

知事

副知事

危機管理監

部局名	事業の概要	課名
知事政策局	県全体の将来の計画を立てたり、男女平等・共同参画や外国との交流を進める仕事。県に関することについて広報する仕事。地域を支援したり、デジタル化を進める仕事。	政策企画課、秘書課、広報広聴課、地域政策課、ICT推進課、国際課
総務部	県の税金についての仕事。県の財産や文書管理や情報公開の仕事。市町村を支援する仕事。消費生活など安全で安心な生活環境をつくる仕事。	財政課、人事課、行政改革課、法務文書課、県民生活課、大学・私学振興課、市町村課、統計課、税務課、管財課、総務事務センター
環境局	地球温暖化対策を進める仕事。身の回りの環境の保全や自然保護などの仕事。循環型の社会づくりを進める仕事。	環境政策課、環境対策課、資源循環推進課
防災局	地震や水害などの災害が起こった時の救助や防災、原子力発電の安全対策など皆さんの安全を守る仕事。	防災企画課、危機対策課、消防課、原子力安全対策課
福祉保健部	だれもが住み良いまちづくりを進めたり、お年寄りや体の不自由な人のための仕事。病気の予防や食べ物・薬品などの安全管理の仕事。	福祉保健総務課、国保・福祉指導課、地域医療政策課、感染症対策・薬務課、医師・看護職員確保対策課、高齢福祉保健課、健康づくり支援課、生活衛生課、障害福祉課、こども家庭課
産業労働部	商工業を盛んにする仕事。皆さんが安心して働けるように職業の訓練や仕事の紹介をする仕事。	産業政策課、地域産業振興課、創業・イノベーション推進課、産業立地課、しごと定住促進課、雇用能力開発課
観光文化スポーツ部	県に多くの人から訪れてもらうために、観光地やイベントをPRしたり観光地を整備する仕事。文化やスポーツを盛んにする仕事。	観光企画課、国際観光推進課、文化課、スポーツ課
農林水産部	農林水産業を盛んにする仕事。暮らしやすい農村をつくる仕事。漁港の整備や森林を増やす仕事。	農業総務課、地域農政推進課、農産園芸課、経営普及課、食品・流通課、畜産課、水産課、漁港課、林政課、治山課
農地部	品質の良い農産物をつくるための農地を整備する仕事。農道や水路をつくり農業を盛んにする仕事。	農地管理課、農地計画課、農地建設課、農地整備課、農村環境課
土木部	住み良いまちをつくるため、道路や公園、住宅などをつくる仕事。ダムの整備、河川の改修などの仕事。	監理課、技術管理課、用地・土地利用課、道路管理課、道路建設課、河川管理課、河川整備課、砂防課
都市局		都市政策課、都市整備課、建築住宅課、下水道課、営繕課
交通政策局	港や空港、鉄道、バスを利用する人を増やしたり、物の流れを盛んにしたりする仕事。港や空港を整備する仕事。	交通政策課、港湾振興課、港湾整備課、空港課
出納局	県の仕事に必要なお金を出し入れする仕事。	管理課、会計検査課
地域振興局	税金についての仕事、健康や生活を守る仕事、道路をつくる仕事、農業を盛んにする仕事など、たくさんある仕事のうち、皆さんの身近で行う仕事。	村上、新発田、新潟、三条、長岡、魚沼、南魚沼、十日町、柏崎、上越、糸魚川、佐渡
病院局	県立の病院を経営する仕事。	総務課、経営企画課、業務課
企業局	電気や工業用水、工業団地を造って供給する仕事。	総務課、営業企画課、施設課

県民の皆さんから選挙で選ばれた知事のもと、多種多様な仕事を部や局で分担して行っています。また、県民の皆さんの身近な仕事をするために、地域の課題に総合的に取り組む地域振興局などがあります。このほか、企業局や病院局、知事から独立して公平・中立な立場から仕事をする教育委員会や公安委員会があります。

県民の皆さんから選挙で選ばれた議員により構成される県議会は、議決機関として県政の基本方針などを決定し、行政を監視する役割などを担っています。

公安委員会 ― **警察本部**

事業の概要／県警察を管理し、警察業務が滞りなく行われるようにする仕事。

警務部、生活安全部、地域部、刑事部、交通部、警備部、新潟市警察部、警察学校

教育委員会 ― **教育庁**

事業の概要／小・中学校や県立高校のお世話をする仕事。

課名／総務課、財務課、福利課、義務教育課、高等学校教育課、生徒指導課、生涯学習推進課、保健体育課

選挙管理委員会

事業の概要／国及び県の選挙の管理執行をする仕事。

監査委員 ― **監査委員事務局**

事業の概要／県の仕事が予算を正しく使って行われているか調べる仕事。

人事委員会 ― **人事委員会事務局**

事業の概要／県の職員採用試験、給与勧告、公平審査等をする仕事。

労働委員会 ― **労働委員会事務局**

事業の概要／労働者と事業主の間に発生した問題の解決にあたる仕事。

海区漁業調整委員会

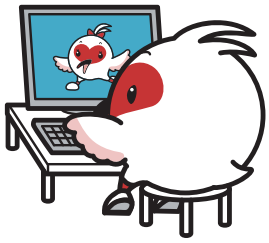
事業の概要／新潟地先海面の漁業調整をする仕事。

収用委員会

事業の概要／土地収用に関する事務処理をする仕事。

内水面漁場管理委員会

事業の概要／内水面(河川・湖沼)漁業の管理をする仕事。



県議会 ― **議会事務局**

事業の概要／条例や予算など県政の基本的な方針や重要なことを議決する仕事。

課名／総務課、議事調査課

県議会の組織

令和7年4月1日時点

- 県議会
  - 議長・副議長
  - 本会議
    - 議会運営委員会
    - 常任委員会
      - 総務文教委員会
      - 厚生環境委員会
      - 産業経済委員会
      - 建設公安委員会
    - ※特別委員会
      - 人口減少問題対策特別委員会
      - 防災・脱炭素社会づくり特別委員会
      - 県民所得アップ対策特別委員会
      - 決算審査特別委員会

※特別委員会は、特定の課題について審査・調査するため、必要に応じて本会議の議決によって設置されます。

議会(定例会)の流れ

本会議

知事から提出された予算などの議案等を委員会に付託し、県政の諸課題等について、議員が知事等に質問します。

委員会

付託された議案等を審査し、委員会として賛成か反対かの結果を出します。

本会議

委員会から審査結果の報告を聞き、意見を出し合い、議会として賛成か反対かの最終結果を出します。

新潟県のシンボル

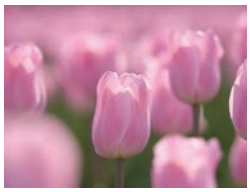
県章 昭和38年8月23日 制定

新潟の「新」を中心に、「ガタ」を円形に模様化しました。
融和と希望を象徴し、県勢の円滑な発展を託したものです。

シンボルマーク 平成4年3月27日制定

新鮮で魅力ある新潟県を県民とともに築いていくためのシンボルとして制定したものです。
新潟県の美しい文化、情報が世界に広がっていく国際性、積極性を表現しています。

県の花[チューリップ] 昭和38年8月23日制定



撮影:中村 脩

新潟県は日本におけるチューリップ球根生産の発祥地であり、その高い園芸技術や先進的な取組により、全国への普及にも指導的な役割を果たしました。現在も、切り花の出荷量は全国1位、球根の出荷量は全国2位を誇ります。

県の鳥[朱鷺] 昭和40年9月13日指定

提供:環境省

朱鷺はかつて、日本のほぼ全域で見られる鳥でしたが、その美しい羽を狙った乱獲や生息環境の悪化などにより、日本産の朱鷺は平成15年に絶滅してしまいました。
しかし、佐渡トキ保護センターにおいて、日中友好の証として中国から寄贈されたペアによる人工繁殖に成功。平成20年には1回目の放鳥を行い、野生復帰を果たしました。その後も継続的な放鳥と野生下での繁殖成功によって数を増やし、現在、佐渡島では500羽を越える野生の朱鷺が生息しています。

県の木[雪椿] 昭和41年8月27日制定

撮影:中村 脩

雪椿は暖地に分布するヤブツバキとは異なるものであり、新潟県を中心とした雪の多い日本海側だけに自生する希少種です。枝が細くしなやかで、雪の重みに耐えながら、雪の下に埋もれることで厳しい寒さから身を守り、雪解けを待って美しい花を咲かせることから、新潟に春を告げる木として知られています。

県の草花[雪割草] 平成20年3月1日指定

撮影:中村 脩

新潟県は、国内最大級の雪割草の自生地として知られています。種類が豊富な雪割草の中でも、新潟県のほぼ全域に分布するオオミスミソウは、日本海側の一部にしか自生しておらず、また花の色や形が多様に変化する特性から世界的にも貴重なものとされ、多くの園芸品種が作られています。

県の鑑賞魚[錦鯉] 平成29年5月5日指定

撮影:新潟県

新潟県は錦鯉の発祥の地であり、錦鯉の生産者数は全国一を誇ります。
「錦」とは絹織物(着物)のことで、錦鯉の名前は鯉の鮮やかな色を例えたものです。その美しさから「泳ぐ宝石」、「泳ぐ芸術品」とも称され、国内のみならず海外でも「Nishikigoi」と呼ばれ親しまれています。

※一般的には「観賞魚」と表記しますが、錦鯉が美術的な価値があるという意味を含め、あえて「鑑賞」の文字を使用しています。

県の石[翡翠] 令和4年11月4日指定

提供:糸魚川市

新潟県は国内最大の規模を誇る翡翠の産地であり、宝石の素材となる透明度が高く良質な翡翠を産出する唯一の産地でもあります。糸魚川市の小滝川や青海川のヒスイ峡は国の天然記念物であり、糸魚川ユネスコ世界ジオパークの重要な構成資産にもなっています。

県民歌 昭和23年制定

一、世紀明けゆく西北の
山河新たに旭は映えて
県民二百五十万
希望に燃えてこぞり起つ
ここぞ民主の新潟県

二、五穀の宝庫土壌肥えて
尽きぬ越後の野の幸に
文化産業絢爛と
花咲き薫るこの繁華
興せ自由の新潟県

三、日本海の若潮に
弥彦妙高佐渡晴れて
世界をむすぶ観光の
絵巻彩なすわが郷土
拓け詩の国新潟県

四、越佐の天地玲瓏と
今ぞ平和の鐘は鳴る
ああ新しき憲法の
聖き理想を炬と翳し
築け栄ある新潟県

作詞:高下玉衛
作曲:明本京静

県民歌の音源と楽譜は、新潟県のホームページからダウンロードできます。

新潟県

発行 新潟県知事政策局広報広聴課
監修 新潟県教育委員会

新潟県のホームページ
https://www.pref.niigata.lg.jp/

新潟のつかいかた
新潟をもっと"つかって"もらうべく、バラエティ豊かな記事を載せたポータルサイト

NIIGATA KOMEJIRUSHI PROJECT
「#新潟のコメジルシ」を付けて新潟の魅力を発信しよう